

琉球・亜熱帯建築の周辺

かぬち

kanuchi

No.17 2013
May

 Architect of OKINAWA
公益社団法人日本建築家協会沖縄支部



CONTENTS

1	支部長挨拶	2
2	リレーエッセイ「建もの旅日記」	3~7
3	リフレッシュセミナー	8
4	「建築家と探す旅の魅力」	9~14
5	タイ施設・交流セミナー	15
6	支部便り	17~19
7	15周年企画 琉球浪漫 2013沖縄建築展	21~24
8	JIA沖縄支部 第16回卒選結果発表	25~31
9	JIA沖縄支部 新規正会員	32~33
10	JIA沖縄支部 新規賛助会員	33
11	支部会員名簿	35~36
12	賛助会員名簿	36



公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部
支部長 島田 潤

沖縄支部の昨年の活動を振り返ると、特筆すべき事が二つあります。まずひとつは、海外交流委員会を設け、海外との交流を活発に行うことを試みたことです。蒸暑地域の気候風土である東南アジアの一員として、お互いの文化や技術の取り組みをより理解して、日々の設計活動に役立つと共に、東南アジアの国々でのビジネスチャンスに繋げようという、大きな将来にむけた活動です。

その第一歩として、タイのバンコクへの視察を行いました。さらに、今年 2 月には、タイでお世話になった大学の方々が来沖された際に、再び交流を深めることが出来ました。今年度は、11 月下旬にチェンマイを訪問する事が決まりました。是非皆様にも参加していただきたいと思えます。

これからも、タイと継続的に交流を続けると共に、他の東南アジアの国々へも視察を重ねることで、沖縄の建築家を、東南アジアでも積極的に建築活動が出来る様に、交流の活発化を図りたいと思います。

そして、もうひとつは、3 月に県立博物館・美術館で開催した JIA 沖縄支部 15 周年記念建築展です。「風土に生きる」というテーマで過去の沖縄の建築家の足跡を辿ると共に、沖縄の建築の在り方を俯瞰する意欲的な試みでした。同時に企画した講演会には、「グローバルゼーションの中で様々な角度で検証し、未来の沖縄の建築の在り方を俯瞰する意欲的な試みでして、講演をしていただきました。「グローバルゼーションの中で建築を考える」と題した演題は正に、我々がこれから向かう道であり、その究極の目的は、普遍的な人の佇む空間だという感動的で示唆に富む講演を拝聴することができました。

さて、本年 4 月より、日本建築家協会は公益社団法人となりました。公益社団法人への移行により JIA は、より市民活動を活発に行い、建築の質の向上及び建築文化の創造・発展に貢献する事になります。

今年度も、前年度の取り組みを、より身近なものにして行くことで、我々の活動を深化し、拡大させるべく会員の皆様と共働し、行動して行きたいと強く思います。

現在沖縄支部では新会員の増強を図っております。すでに実績豊富な方、そして建築家を目指す若い方々、共々是非 JIA に加わって頂きまして、沖縄の建築文化の発展と、豊かで美しく魅力的なまちづくりの調停者として、共に地域に貢献してゆきたいものと、思いを新たにしております。

久高 多美子

リレーエッセイ「住まい備忘録」に続く2巡目であります「建てももの旅日記」は2010年9月にスタートして以来2012年3月のゴールまで、35名の会員が執筆をしまして建設新聞に掲載させていただきました。前回に引き続き後半の部をご紹介します。

これまで読んでいただいた方からの反響もあったようです。仲間で酒の肴にして盛り上がるもよし、旅先を決めるヒントによし……。

是非、「読みましたよ」の一声を掛けていただいで出合いのきっかけにして、交流を深めていただきたいと思います。

又現在、3巡目の「建築家をめざして」が建設新聞に好評連載中です。さらに建築家の人となりに触れるチャンスにもなりますご一読下さい。

1	慶佐次 操	(有)名工企画設計
2	島田 潤	(株)デザインネットワーク
3	運天 勲	(株)渡久山設計
4	金城 義治	金城義治一級建築士設計事務所
5	松山 喜治	(株)国建
6	金城 司	(有)門一級建築士事務所
7	當間 卓	(株)泉設計
8	本庄 正之	(有)アトリエNOA
9	仲間 郁代	仲間郁代建築設計事務所
10	金城 傑	(有)K・でざいん
11	金城 優	(有)門
12	伊良波 朝義	(有)義空間設計工房
13	西里 幸二	一級建築士事務所 西設計
14	福田 俊次	(株)国建
15	藤元 節男	節・アーキテクト
16	前田 慎	ポイントウォーカーデザイン
17	伊志嶺 敏子	伊志嶺敏子一級建築士事務所
18	宮平 隆雄	(株)宮平設計
19	比嘉 伝英	美音Space Design(株)
20	大嶺 亮	ファイブデイメーション
21	久高 多美子	(株)東設計工房
22	大仲 英彦	(有)スタッフオズ
23	知念 信正	新環境(株)
24	塩 真孝彰	パス建築研究室
25	上村 彰	(株)チームアルファ
26	永山 盛孝	団設計工房
27	山城 東雄	(株)東設計工房
28	上江田 正	(有)GA2設計
29	赤嶺 和雄	(有)設計同人GAN
30	長谷部 廣	(有)長谷部建築研究所
31	美農 祐央	一級建築士事務所tin architects
32	武岡 光明	一級建築士事務所T・武岡建築設計室
33	根路 銘安史	アトリエ ネロ
34	門口 安則	(有)アトリエ門口
35	小林 文雄	(株)ワールド設計

建もの旅日記

第28回

世界遺産の旅

⑧日本建築家協会 沖縄支部 会員

上江田 正 (有)GA2設計



榕樹(ガジュマル)に覆われた寺院

タイ・ラオス・ベトナムに囲まれたカンボジアは悲劇の国である。打ち続く内乱やポルポト政権時代の悲劇は私達にも記憶としてまだ心の中にある。政情安定した事により

世界遺産のアンコール遺跡へ、ベトナムより入国。乾季のカンボジアは、インフラの整備が十分な為、バスは乾いた土煙が立ち込める中を走り、シエムリアップ市に到着した。この旅の目的であるアンコール遺跡群の中、最大の規模と最高の芸術を持つアンコールワットは世界的に有名で、アンコール遺跡全体の代名詞のように言われている。整然と建てられた壮大な建築様式、そして精緻な浮き彫りとその装飾は、クメール文化の栄華がどれほどのものであったかを私たちに教えてくれた。その全体を見た人たちは誰もが、「東洋の奇跡」と呼ぶほどの、東南アジア屈指の石造建築物である。アンコールワットの特徴は三重に構成された回廊に施された浮き彫り、回廊のデザイン格子がおりなす光の陰陽の美しさに引きつけられて感動を覚えた。翌日、見どころの一つ、アンコールワットの朝焼けの姿を見るため、早朝の五時、暗闇の中に立つ

た。やがて空全体が赤く輝きだし、そこに浮かぶアンコールワットのシルエットの美しさを、その時の感動は写真ではどうしても伝える事がむづかしいと思った。

浅緑色の空が明るくなり、周囲に浮かび上がった旅人の顔は神秘的な感動に浸っていた。午後にはアンコールムムへ向かった。アンコールムムも遺跡群の中で異彩を放つ四面仏塔を持ち、バイヨン様式にしか見られないと言われている仏像の微笑みは独特な雰囲気を持ち、静かに包み込んでいた。

スケールの違う大自然の中で、それぞれの民族がそれぞれの文化を築いている事を改めて感じた旅であった。

(※掲載写真は筆者提供)



アンコールワット・四面仏塔

建もの旅日記

第29回

秋境ブータンに魅せられて

⑧日本建築家協会 沖縄支部 会員

赤嶺 和雄 構成設計同人GAN



パロの民家 深い軒の軽快な大屋根

一九九二年ネパールの旅の最中、カトマンズから最高峰エベレストをはじめ世界の屋根と云われるヒマラヤ山脈を平行して東へアータンを目指して飛んでいた。この国は、

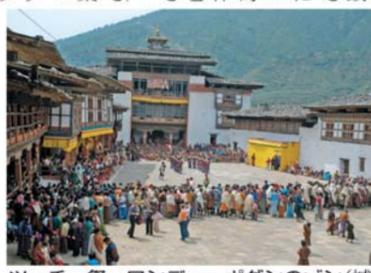
GNP(国民総生産)ではなくGNH(国民総幸福量)を提唱し、「環境や文化を守り、持続可能な経済発展を思考する独自の風土」を实践している。沖縄とほぼ同じ緯度にある面積は、九州の少し大きいくらい、国土のほとんどが渓谷で平地が少ない。タン唯一の空港は西の端、パロ盆地にある。標高二四〇〇メートルの地、狭い谷間をめぐりながら次第に高度を上げていった。より少し大きい位の木造平屋。降り立ったパロ盆地は刈り入れ前の美しい稲田が広がっていた。点在する民家の景観はどこか日本の田舎の風景にタバー。

当時は領内に近い政策をとっており、年に一度のツェチュ祭の時期だけ団体の外国人を受け入れていた。一年中でいちばん美しいツェチュとはブータン各地のツェチュ祭で行われる、ラマ教の祭りである。遠くから男性は「ツェ」女性は「キラ」の民族衣装を身にまとい、着飾って来る。屋敷もなほあちこちで、ちやうどを掛け、楽しそうに食事をする。その光景は、小学生の頃の運動会を思い出す。伝統民家は二、三階建てで、一階は家畜小屋や倉庫に用いられ、版築(土造り)や石積みなどの組構造。二階には木造の居住部分、仏間には彩色色の仏壇がある。中央ブータン、トンサの村で案内された家では仏間にタライ・ラム十四世の写真が掲げられていた。三階部分は吹きさらしの屋根裏小屋になっていた。浮いたような大屋根は緩い勾配の板葺きで、釘を使わず石を置いているだけである。風の通る屋根裏は穀物や肉を乾燥させる物置として使われている。深い軒、向こうが透けて見える、軽快な大屋根が、ブータンの民家の魅力である。

去年四回目の旅で西の端、タンガンまでようやく行く事が出来た。途中三〇〇メートル級の峠を六つも越えて、一番高いトゥムシン峠は三七四〇メートルと富士山に匹敵し、丸二日をかけて約六〇〇キロを走破、西の地で見えたものは何と！沖繩と同じ植物、アゲンヒレア、カンナ、クロトロン、バナナ、パイナップル、サトウキビ、ナニベライ等であった。

しんどい思いで峠越えをしたあの時の感動はもう二度と味わう事は出来ないだろう。今、中央部と東の端に二つの空港建設が進んでいる。

(※掲載写真は筆者提供)



ツェチュ祭 ワンデュー・ポダンのツェ(城)

建もの旅日記 第32回

感性を磨く小旅行 日本建築家協会 沖縄支部 武岡 光明 T・武岡建築設計室



TOTO アクアビット ASO

先月10年ぶりに社員を連れ立って阿蘇への2泊3日の小旅行に出かけた。私にとって30年前

自然との調和やデザインを考える

の修学旅行以来となる懐かしい思い出の阿蘇である。目の前に広がる壮大な自然。ロープウェイで火口に向かう途中、自然の力に圧倒されるような不思議な感覚があった。その目についたのが駐車場のしじまに見えたTOTOのアクアビットASOだ。その設計者が木島安史+YAS都市研究所というところまで分かった。三角屋根、3m角のキューブにタイルを張った本体。そして7棟が高さを変えながら配置され、大自然の中で自己主張するかのようにならぬように山並みに調和している。翌日、あまくさみすみ線に古いとき代を彷彿させるA列車に乗り込んだ。A列車の頭文字で16世紀の天草に伝わった南蛮文化をテーマにした列車である。黒と金色の車体はエキゾチックな雰囲気を持ち、内部は落ち着いた色調の木を壁や床に。様々なアール・ヌーヴォーの要素が随所に配されたステンドグラス等は大人の旅を演出するものである。三角駅も同様に家具、照明、自動販売機までキメ細やかなデザインが施されている。単なる移動手段でA列車を利用したのだが、何とも心地よい体験をした。短い旅の最後は、福岡のキャナルシティに宿泊した。何年前に見学したが、ショウ的な演出は今でも朽ちることなく、以前にも増して活気のある楽しい空間になっている。気がなることがあって夜中に施設内を歩いた。思ったとおり建物自体は年月の経過で色あせた所や傷んだ部分が目立ち老朽化が進んでいる。ところが、いったんオープンすると個々のテナントがそれぞれのコンセプトで時代に対応した企画や演出により個性を發揮して施設を活性化の源になっているように思えた。言い換えれば、個々のテナントの力が全体として大きな魅力を生み出している。まさに時代のニーズにあった新鮮な商業空間が出来ているのである。今度の旅で感じたことは、阿蘇山のゆるぎない存在感を背に建築と自然の調和は如何にあるべきか。A列車では、デザイン上の役割とは何か。複合施設の新鮮な空間の演出など、もの造りに携わった設計者は常に感性を磨き、環境を積み重ねることが大切だと痛感した次第である。(※掲載写真は筆者提供)



A列車の内部

建もの旅日記 第30回

『鬼太郎ロード』への誘い 日本建築家協会 沖縄支部 会員 長谷部 廣 南長谷部建築研究所



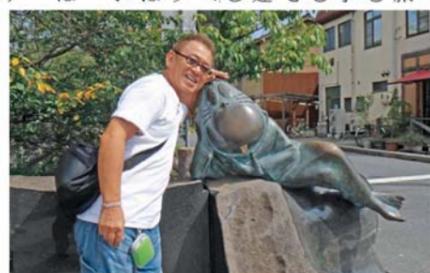
『鬼太郎ロード』の主演・ブロンズ像

皆さんは、漫画家・水木しげる氏の『ゲゲゲの鬼太郎』をご存じだと思います。『ゲゲゲの女房』も昨年放映されました。水木氏の故郷が、鳥取県境港市です。人口約3

5,000人の町に何と年間370万人余の方々が訪れています。その理由が、全長約800Mの『鬼太郎ロード』にあるのです。から驚きです。今年8月下旬、私も20名の仲間と共に訪問しました。JR境港線、鬼太郎列車が走り、妖怪神社、水木しげる記念館も整備され、境港駅は鬼太郎駅、米子駅はねずみ男駅など16駅に妖怪名がついています。楽しい演出です。また妖怪倉庫新聞も発行されています。

まちの賑わいを演出する『妖怪たち』

私は、旅は楽しむもの、心を子供にするもの、物を見物して回る時、私の心はウキウキとしゃべります。水木氏は「昔(70〜80年前)は、暗いところが多くお化けもたくさん住んでいました。」と。また、この町は、全国のシャッター通り商店街にも、一石を投じています。人がたくさん歩いてはいるのです。ただ歩くだけではなく、ほとんどの方々が買い物をして経済効果も抜群です。訪れている人に聞きました。何回も来ているそうです。楽しいのです。嬉しいのです。鬼太郎ロードの妖怪は、約100体すべてブロンズ像で、勝手に触れたり、抱きしめたり、一緒に写真を撮ったり、すべ妖怪と友達になれるのです。土、日には、着ぐるみの鬼太郎やねずみ男が歩いているのです。(※掲載写真は筆者提供)



ブロンズ像とくつろぐ筆者

建もの旅日記 第31回

広場のある風景 日本建築家協会 沖縄支部 幹事 美濃 祐央 一級建築士事務所 ティンアーキテクツ



ローマのパンテオン広場

私がまだ学生であった頃、イタリア、フランス

西欧の公共性に触れた一時

の2カ国を友人4人で巡った時の話。初めての海外旅行であつた私達。は、まるで借りてきた猫のように小さな身を丸め、旅行本を片手に、右も左も分らず右往左往し、それでも拙い英語を駆使しながら各地を廻った記憶が15年経過後に鮮明に焼き付いている。初めて目の当たりにする異文化に期待と憧れを抱きつつ旅へと臨んだが、それを真切らない美像としての美しい街並みや建造物に目を奪われた。2カ国を巡って感じたことの一つが、生活の場と宗教の場の距離感についてである。コンパクトに集約した都市は、開けた主要幹線を一旦、内に入ると、細い路地へと続き軒を連ねた建築群によって一見暗く閉鎖的な空間となる印象を受ける。地上部には商業店舗が並んでいて、上階にはアパートやオフィスが積層する構成である。路地を歩くと突如開いた広場空間が出現し、賑わいのある市民の憩いの場を提供している。観光を主幹産業とするエリアにおいては、広場空間を閉じこめてカフェやレストランなどが配置され、テラスやイスが広場に迫り出して、ゆとりなく腰を落着けて市民と観光客、そして廻りでは地元の子供達が楽しそうにはしゃいでいるミックスされた光景が印象的であつた。また宗教上の象徴としてのドゥオーモ建造物の



ベネツィアのサンマルコ広場

たことの一つが、生活の場と宗教の場の距離感についてである。コンパクトに集約した都市は、開けた主要幹線を一旦、内に入ると、細い路地へと続き軒を連ねた建築群によって一見暗く閉鎖的な空間となる印象を受ける。地上部には商業店舗が並んでいて、上階にはアパートやオフィスが積層する構成である。路地を歩くと突如開いた広場空間が出現し、賑わいのある市民の憩いの場を提供している。観光を主幹産業とするエリアにおいては、広場空間を閉じこめてカフェやレストランなどが配置され、テラスやイスが広場に迫り出して、ゆとりなく腰を落着けて市民と観光客、そして廻りでは地元の子供達が楽しそうにはしゃいでいるミックスされた光景が印象的であつた。また宗教上の象徴としてのドゥオーモ建造物の

(※掲載写真は筆者提供)

建もの旅日記 第33回

『借景庭園 円通寺』 日本建築家協会 沖縄支部 根路銘 安史 アトリエ ネロ



円通寺の借景庭園

久しぶりの真冬の京都。吸い込んだ冷たい空気がこれまで眠っていた感覚を呼び起こす。足元から「しんしん」と冷たさが伝わり、時折降る雪は、視界を曇らせ時代のレイヤーを取り払い時空をさまよう。私が京都に行くこと必ず訪れる場所、それが洛北にある借景で有名な国の名勝『円通寺』。20畳程の座敷の奥中、中央に背筋を伸ばし鎮座し、柱、鴨居、床のフローリングで切り取られた枯山水式の借景庭園と向き合う。庭は苔を主体に、刈り込みと大小40余りの石を配し、混壇、杉や檜の太い幹、その奥に比叡山を見る。建物内と外部の明暗のコントラストによって比叡山が浮かび上がる。彼方の空間を自己の風景に同一化し、演出する借景の技法。コンケイブ(凹)地形による借景の構成法である。稜線が大なり何百年の時代も変わらぬ風景を、時を超えた人々と共感する。心地よきと同時に自己をリセットできるような感覚が芽生える。環境、景観について意識させられる。そして住み方、生き方、建築のあり

残してほしい風景

方を見つめ直し、己の方向性を再確認する。20代から通っているせいか、初心に戻れる場所である。数年前までは、写真撮影が禁止。『写真を撮らないで、各自の心に留めておいて下さい』と、シャイな声での住職の説法も、時代とともにテープレコーダーに変わり、今回の旅では、撮影も可能になっていった。開発で庭の景色を残す事ができなくなったからだ。高層マンション建築など急速に進む都市開発は、貴重な借景を壊してしまふ。沖縄でも自然の海岸線はほとんど無くなり、都市再開発事業、道路拡張工事などで町並みはどんどん変わってきている。何時訪れても変わらない心よりどころになるような場所、建物を少しでも多く残して欲しいと思う。(※掲載写真は筆者提供)



● 備瀬集落のフクギ並木(本部町)

▲写真1 通りから見える扉先を挟んだ住戸のたたずまい
▲写真2 備瀬集落の遠景
▲写真3 フクギ並木のトンネルから浜辺へつながる小道
▲写真4 海岸線から伊豆島クツチ

▲写真5 群生するフクギ並木、石垣とともに屋敷囲いとして使われていた

建築家と探る地域の魅力 ④ 後世に残したい景観 防風林や家と通りの距離感に知恵

備瀬集落は海洋公園の北側に位置し、近年、公園を訪れる観光客が増えると同時に、広く知られるようになっていきました。私自身、三十数年前にこの場所を訪れ、周囲の景観とは違う風景に感動した経験があります。最近、その時に来訪しましたが、以前と変わらぬ元気なフクギ並木と、それにすっぽり埋もれた住戸のコントラストが気持ちよく感じられました。しかし、瓦屋根の木造住宅が陸屋根の鉄筋コンクリート住宅に建て替えられ、風景に馴染まない外観が見られるのはよっと残念です。景観に配慮した住宅が望まれます。

フクギを屋敷林、防風林として活用した集落づくりは県内に多くみられます。伊豆名村の銘刘家周辺のフクギ並木、久米島町仲里の美らフクギ、渡名喜村の集落とフクギ並木、石垣市内の伝統住居周りのフクギ並木などがあります。備瀬集落のフクギ並木が群生した景観は別格です。最近ではフクギが街路樹として活用されているのを見かけますが、その使用目的や緑陰の具合を考えると、検討を要するのではないのでしょうか。

備瀬集落のフクギ並木は群生目録に整備された区画に沿ってフクギが群生し、夏の太陽の光を葉が受け止め、通りに木陰をつくって

フクギが群生目録に群生し、並木をつくり出して本部町備瀬集落の中を歩けば、緑陰の心地よさとともに、防風林としての役目や屋敷と通りへの良い距離感を生む先人の知恵が見えてくる。松山喜治さん(探る建築家会沖縄支部)に案内してもらった。

備瀬集落は海洋公園の北側に位置し、近年、公園を訪れる観光客が増えると同時に、広く知られるようになっていきました。私自身、三十数年前にこの場所を訪れ、周囲の景観とは違う風景に感動した経験があります。最近、その時に来訪しましたが、以前と変わらぬ元気なフクギ並木と、それにすっぽり埋もれた住戸のコントラストが気持ちよく感じられました。しかし、瓦屋根の木造住宅が陸屋根の鉄筋コンクリート住宅に建て替えられ、風景に馴染まない外観が見られるのはよっと残念です。景観に配慮した住宅が望まれます。

フクギを屋敷林、防風林として活用した集落づくりは県内に多くみられます。伊豆名村の銘刘家周辺のフクギ並木、久米島町仲里の美らフクギ、渡名喜村の集落とフクギ並木、石垣市内の伝統住居周りのフクギ並木などがあります。備瀬集落のフクギ並木が群生した景観は別格です。最近ではフクギが街路樹として活用されているのを見かけますが、その使用目的や緑陰の具合を考えると、検討を要するのではないのでしょうか。

備瀬集落のフクギ並木は群生目録に整備された区画に沿ってフクギが群生し、夏の太陽の光を葉が受け止め、通りに木陰をつくって



● 兼城門原の石積み集落(糸満市)

▲写真1 北側から見たナカミチ。坂を登ると石積みの集落が見えてくる
▲写真2 大城家の通りに面する石垣
▲写真3 南側から見たナカミチ。うねりながら道が続いている
▲写真4 集落内は古い石垣が点在する
▲写真5 新得前門の石垣
▲写真6 国道331号から、兼城・門原集落(緑地の部分)を見る

建築家と探る地域の魅力 ⑤ 古い石積みに職人の技 小径から浮かぶ集落の原風景

糸満市兼城・門原集落は、戦前の琉球石灰岩の石積みが見え、石職人の高い技術がうかがえる。うねる小径を歩けば、昔の集落の光景が浮かび上がってくる。同集落に住む、運天勤さんに案内してもらった。

この地に移り住んでもう16年になる。事務所と自宅を歩き来る日々、仕事の忙しさを言い訳に地城を散策することもめづり減ってきた。

先日「市史・村落資料」を読む機会があり、多くの史料などがあることを知って、早速資料を手に散策することにした。

国道331号、西崎交差点から東に見える緑豊かな丘陵地帯を目指し、坂道を登る。雑木林に潜む奥の石垣(※1)に突当たり、右の坂を登ると古い石積みのある集落に入る。ここは、糸満市兼城・門原の集落である。

集落の西を走るナカミチ(※2)から集落の幹線道路として使われ、その両脇には門中の本家が立ち並んでいたこともあって、屋敷を囲む古い石積みが残っている。琉球石灰岩を積み上げた、あるいは相方積み(※3)とした戦前のものが多い。

通りは南へうねりながら兼城橋・兼城川へ下る。その通りの中ほどに、糸満市の有形文化財として指定された大城家(東前門)がある。1907(明治40)年に建てられ、屋敷を囲う石垣は、北側を野面積み(※4)、正面と東側は精巧な切石積み(※5)で当時の石職人の技術の高さをつかことが出来る。

※1 兼城橋
※2 ナカミチ
※3 相方積み
※4 野面積み
※5 切石積み

※1 兼城王の六男、兼城按司と、その次男奥間按司が築いたタスクという説がある。

※2 ナカミチの名称には、中国人による謂れがある。

※3 一段ごとに高さをそろえ、ブロック状に積み上げる技法。

※4 石を多角形に加工し、互いに噛み合うように積む技法。

※5 加工していない自然の岩や石を、そのまま組み合わせて積む技法。

※6 一定の形に切った石を規則正しく積み上げる技法。城跡の門の部分に見られる。

この地に移り住んでもう16年になる。事務所と自宅を歩き来る日々、仕事の忙しさを言い訳に地城を散策することもめづり減ってきた。

先日「市史・村落資料」を読む機会があり、多くの史料などがあることを知って、早速資料を手に散策することにした。

国道331号、西崎交差点から東に見える緑豊かな丘陵地帯を目指し、坂道を登る。雑木林に潜む奥の石垣(※1)に突当たり、右の坂を登ると古い石積みのある集落に入る。ここは、糸満市兼城・門原の集落である。

集落の西を走るナカミチ(※2)から集落の幹線道路として使われ、その両脇には門中の本家が立ち並んでいたこともあって、屋敷を囲む古い石積みが残っている。琉球石灰岩を積み上げた、あるいは相方積み(※3)とした戦前のものが多い。

通りは南へうねりながら兼城橋・兼城川へ下る。その通りの中ほどに、糸満市の有形文化財として指定された大城家(東前門)がある。1907(明治40)年に建てられ、屋敷を囲う石垣は、北側を野面積み(※4)、正面と東側は精巧な切石積み(※5)で当時の石職人の技術の高さをつかことが出来る。

※1 兼城橋
※2 ナカミチ
※3 相方積み
※4 野面積み
※5 切石積み

※1 兼城王の六男、兼城按司と、その次男奥間按司が築いたタスクという説がある。

※2 ナカミチの名称には、中国人による謂れがある。

※3 一段ごとに高さをそろえ、ブロック状に積み上げる技法。

※4 石を多角形に加工し、互いに噛み合うように積む技法。

※5 加工していない自然の岩や石を、そのまま組み合わせて積む技法。

※6 一定の形に切った石を規則正しく積み上げる技法。城跡の門の部分に見られる。

タイ視察・交流ツアー



バンコク現代彫刻センターにて

平成 24 年度 (2012 年度) に新設された国際交流委員会、初代委員長の前田です。

JIA Bulletin 2013 年 1 月号 / 海外レポートの中で芦原太郎会長が「国際社会との関係は友好から国際協調活動・事業協力関係へと変化しつつある」そして「若い会員も含めた国際化の推進を目指す」と言う事を書かれていました。まさに今、会長コメントにあるような環境に変化しつつあると言え、沖縄支部では地理的条件を最大限に活用しアジアへ目を向け、積極的にアプローチして行きます。

第 1 回目の国際交流事業として昨年、9 月 5 日から 4 泊 5 日の日程でタイ王国バンコクを、会員 10 名、賛助会員 1 名、オブザーバー 2 名の 13 名で訪問しました。同行された琉球大学教授小倉先生の研究室で、数年に渡り研究されている、バンプアと言う地区のスラム住宅改善事業の現地視察を行いました。また、訪曼谷全行程に渡り、琉大小倉研と交流のあるキングモンクット工科大学のダオ先生にいろいろお世話になり、バンコクの今昔建築事情を案内して頂きました。便の予約事情にて、最終日は台湾に 1 泊のおまけ付き、結果 2 か国訪問の第 1 回国際交流事業は、内容濃く有意義なものとなりました。

今年 2 月来沖され再会したダオ先生と年末バンコク再訪の約束をし、タイとの国際交流は今年度も継続します。

ツアー参加者

島田 潤	株 デザインネットワーク
前田 慎	ポイントウォーカーデザイン
運天 勲	株 渡久山設計
當間 卓	株 泉設計
金城 司	(有) 門一級建築士事務所
金城 優	(有) 門
久高 多美子	株 東設計工房
伊志嶺 敏子	伊志嶺敏子一級建築士事務所
小倉 暢之	琉球大学教授
伊良波 朝義	(有) 義空間設計工房
荒木 香織	ディアコレクション沖縄
入江 徹	琉球大学准教授
森本 悠義	琉球大学学生



- ・最終日 JA 沖縄支部主催晚餐にて - お世話になったダオ先生へお礼
- ・カンタナイシティ - 設計者の解説を聞いている
- ・帰国
- ・タイ現代美術館 エントランス

- ・バンコク彫刻センター 屋上庭園
- ・カンタナイシティ
- ・川沿いの古からの集落視察

- ・バンコク到着
- ・キングモンクット工科大学招待の晩餐会

- ・バンプアコミュニティ - 説明を聞いている



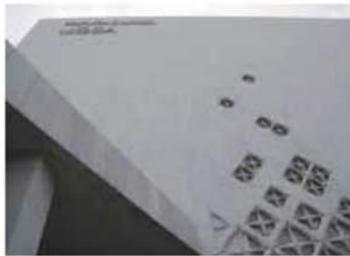
アジア的世界を土壌とした未知の最先端デザインの可能性

■はじめに

2012年9月5日から9日、JIA沖縄支部によるタイ・台湾視察研修が行われた。本視察は、JIA沖縄支部国際交流委員会による第一回目の視察研修ということである。現地では、琉球大学と大学間提携を結んでいるタイのキングモンクット工科大学(KMITL)のダオ先生(愛称。本名はPiyarat Nanta先生)が各所を案内して下さり、大変素晴らしい視察研修となった。視察メンバーの多くは、8日に台湾へ移動したが、私たち数名は9日までタイに滞在することとなった。

■タイ視察日記 9月6日

「バンコク彫刻センター(Bangkok Sculpture Center)」、「バンブア・コミュニティ」、「タイ現代美術館MOCA(Museum of Contemporary Art)」などを視察した。「バンコク彫刻センター」は、タイの建築家による設計であり、タイの比較的具象的な彫刻を展示していた。回廊状に巡っている2F展示エリアから、1F荷解き場とその作業風景が見えるという構成が興味深かった。続いて、琉球大学の小倉暢之研究室が調査・研究を行っている「バンブア・コミュニティ」へ。ここでは、コミュニティの方々による解説やご案内もあり、このコミュニティの制度や現状について勉強させていただいた。「タイ現代美術館」は、大きな吹抜けロビーが印象的であり、館自体の規模も大きくコレクション数も多い。何より驚くのが、この建築物が私設であるということ。職員さんにお伺いしたところ、こちらもタイの建築家が設計した建築物のようである。



タイ現代美術館

■タイ視察日記 9月7日

バンコク市街からだいぶ離れて「カンタナ・インスティテュート(Kantana Film and Animation Institute)」、「サムチュク百年市場」などを視察した。タイの若手建築家でありチュラロンコン大学の先生でもあるブーンサルム・プレムサダ(Boonserm Jok Premthada)さん設計の「カンタナ・インスティテュート」は、俳優、映像などの養成学校であり、ar+d Awards for Emerging Architecture 2011を受賞した建築物である。レンガの壁で構成



カンタナ・インスティテュート



カンタナ・インスティテュート
壁に囲まれた空間

されており、絶妙な距離の壁と壁の間に吹き込む心地よい風が印象的であった。プレムサダさんとは、今回タイへの渡航が決まった際に事前にメールなどでやり取りし、現地で初めてお会いすることができた。プレムサダさんは、建築物の制作過程のプレゼンまでして下さり、タイの現代建築の有り様を勉強することができた。そして、彼からこの建築物が紹介されている『art4d』というタイのアート・建築系の雑誌や、この施設に関連書籍をいただいた。「サムチュク百年市場」は、川沿いに位置する百年以上続く市場であり、再生保存のためにタイや日本の大学がワークショップなどを行っている。この日は、その他にタイの伝統住宅も視察した。

■タイ視察日記 9月8日

9月8日は、小船やトゥクトゥク(三輪自動車)で移動しつつバンコク市街を視察した。バンコク最古の寺院「ワットポー(Wat Pho)」を視察した後、台湾に移動されるJIAの皆さんとお別れし、バンコク中心部の巨大デパートなどの現代建築や古いRC建



小船に乗りチャ
オプラー川から
バンコク市街を
視察



公共交通機関
のメガストラク
チュア

築物を地図を片手に見て回った。そして、コム・デ・ギャルソンのショップや草間彌生によるルイ・ヴィトンのショーウィンドウも見ることができた。また、かなりセンスのよいデザイン製品を扱うショップを見つけたが、それらの製品はタイのデザイナーによるものらしく、日本のグッドデザイン賞も受賞している様子であった。書店では、建築・アート系の書籍が充実しており、先端の情報を収集できる環境であることを確認できた。一方で、街中に現れる公共交通機関の力強いメガストラクチュア存在も印象的であった。

■変わりゆくであろう建築界の状況

私は、ここ数年アジアの国々(タイ、中国、香港、マカオ、韓国、台湾、シンガポール)をまわってきた。海外の建築と言えば、一般的にはヨーロッパやアメリカが皆の興味の中心となるであろうし、日本では東京ということになるであろう。しかし、私は、アジア的世界を土壌として発展している建築・都市デザインと、今後の更なる可能性を秘めたアジア圏の国々の状況をも興味深く思っている。アジアのカオスの中に先端技術が組み込まれて成立する世界像は、まだまだ未知の領域が多く可能性を広げている途中である。だからこそ、ここ数年のアジア、そしてこれからのアジアを興味深く捉えている。

辻(チージ) 界限

—芸能文化開花を発信—

辻(チージ)の歴史は琉球王府時代に溯る。去る大戦で壊滅するまで270余年の間、琉球王国滅亡後も時代の移り変わりをリアルな身体性で潜り抜けてきた。書を見ても琉球の歴史・文化とチージの芸能文化が、その空間によって育まれてきたことがわかる。チージで知られる尾類(ジュリ)馬行列の古いモノクロ写真には、各妓楼の窓や屋根に沢山の見物客が見える。

かつて、特に貧しかった時代、男の子は糸満壳(イトマンウ)に、女の子はチージへと親元から離された。チージは女性たちによる社会である。各妓楼は抱母(アンマー)によって運営され、ジュリの子は歳月をかけて育てられ、諸々の芸事や料理、もてなしの教えを身につけた。

チージの空間から、琉歌、口説、舞踊、三線、民謡、料理、古謡おもしろまで広められ存続したこともリアルな歴史の一面である。詳細は『琉球辻情話』(渡嘉敷錦水著)にも述べられているので委ねて、ここではチージの空間に目を向け、その位置関係を俯瞰してみる。

那覇の街は南西側に那覇港を抱え、久米の大門から北の大門(西武門)を経て波の上宮に延びる龍脈のような道の軸線が貫き、街は広がる。チージは西武門交差点(北門)から波の上方向と上之蔵方向との間に位置し、やや碁盤状の長方形である。上之蔵通りに平行に3つの通りがあり、その3本の道を串刺しにするよう

おそらく、教育の場にも変化が起ころはじめているものと想像している。昔、アジアから建築を勉強するためにヨーロッパ、アメリカ、日本へと留学した方々が祖国に戻って教鞭をとるようになったということが、アジア圏の建築教育の環境に変化をもたらしているであろう。彼らが教鞭をとっているため、現状の学生たちは自国で先端の建築教育を受けやすくなっているものと考えられる。このような状況から、今後、世界の建築界の構図が大きく変化していく可能性が高いと考えている。

沖縄の学生たちには、地の利を生かしてアジア圏へも活動領域を広げていってほしい。そして、そこから得た経験や感性を沖縄建築界に還元していくことで、ますます沖縄建築界が潤っていくことを期待したい。

■おわりに

このたび、視察研修にお誘い下さった小倉暢之先生、JIA会員でもない私を視察研修に同行させて下さった会員の皆様、現地でガイドをして下さったダオ先生、その他関係者の皆様のおかげで大変素晴らしい視察研修となった。この場をお借りしてお礼申し上げます。

入江 徹

(琉球大学工学部環境建設工学科建築コース准教授)



宿辻界限

な大きな道で構成される。北西の方は辻原墓地の丘から海辺に出る。大正8年の大火後も200軒近い木造赤瓦屋根の妓楼が軒を連ね、石塀越しに見える2階の欄干も開放的である。交易の時代を経て、王府や中国、薩摩の公的機関に市場や芝居小屋、劇場等が集積していた。

チージは街にも近く、辻原墓地の海辺の丘や西の海と連なり、日常と非日常が重なる場所だったといえる。戦争前にチージを訪れたという日本の著名な画家の話によると「守礼の門の近くで絵を描いていると、遠くの方から日傘の女性たちが近づき、通り過ぎる間合いに、訪ねたらチージだと分かった。その後、何度も訪れたが入ることが出来ず、宿泊先の主人に紹介してもらいチー

沖縄支部



那覇市街



明治橋

琉球風画帖

懐かしい沖縄は新鮮なオキナワ

沖縄の昔の歴史的な場所や象徴的な風景と戦後の復興期からの懐かしい風景をコンセプトに描いた水彩画です。昔の様々な場所の風光明媚な風景の中に琉球(沖縄)の興味深い様々な歴史的シーンがみられます。その歴史的な場所を水彩画で生き活きと立ちのぼらせながら、沖縄の歴史散歩を感じることができます。時を越えて、今昔の懐かしさと新鮮な世界へ誘います。

(内容)

vol.1

- ①長虹提 ②北明治橋 ③那覇市街 ④首里坂 ⑤崇元寺 ⑥赤瓦屋根 (これから)

vol.2

- ①那覇大門通り ②桜坂界限 ③パラダイス通り ④辻界限 ⑤樋川の路地 ⑥首里城界限 (これから)

ローゼル川田

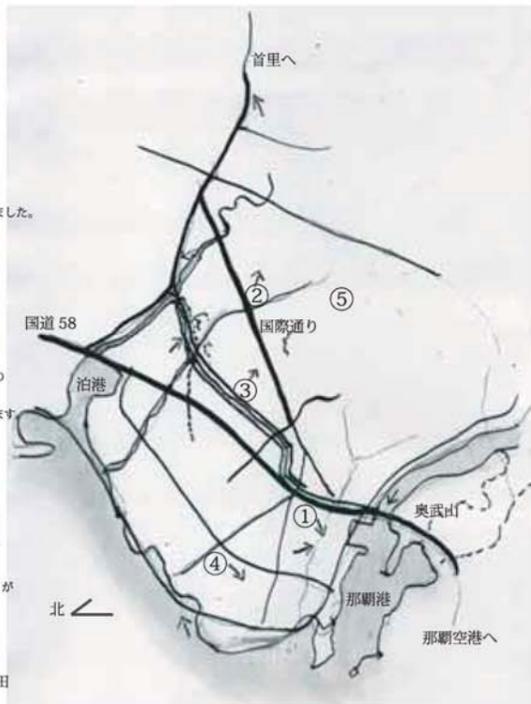
那覇市出身。本土の大学を卒業後、設計やデザインに携わりながら、エッセイと水彩画を描き続ける。琉球の時代から沖縄の今も残る懐かしい風景を描き、歴史を水彩画によって立ちのぼらせイメージを広げていく。沖縄県立博物館・美術館の県民ギャラリーにて個展を開催。季刊雑誌「詩とファンタジー」(やなせたかし責任編集)に水彩画が掲載される。「琉球風画帖」の水彩画絵はがきシリーズがジュンク堂沖縄・那覇店、沖縄県立美術館・博物館にて販売中。

琉球風画帖 vol.2

古いモノクロ写真や今も残るたたずまいを水彩の沖縄「風画」にしました。立ちのぼるイメージが誘う昔年のいろんな場所。夢うつつ世界へ……

- ① 那覇大門通り 1925年頃～(大正14頃) 戦前の那覇の中心、東町あたり。大門通りの正面に那覇市役所の塔が見えます。山形屋百貨店や市場で賑わう古い町でもありました。
- ② 桜坂界限 1950年代～ かつての歓楽街、桜坂も時代と共に変わり、今は若者のまちとして元気で。花ブロックの風景が懐かしさを誘います。
- ③ パラダイス通り 1950年代～ 素敵な名前です。この通りにあったダンスホールの名前にちなんで名付けられたとか。ブルーに塗られた壁にアメリカ文化の影響を感じます。
- ④ 辻界限 1910年頃(明治43頃) 辻の遊郭は琉球王朝時代からありました。去る大戦で全焼するまで数百年も時代の移り変わりをみえました。舞踏や歌、琉球が石垣島の奥から聴こえてきそうな気配です。
- ⑤ 樋川の路地 1950年代～ 去る大戦で荒野と化した那覇は路地(スジ小)が蜘蛛の巣状に広がるラビリンスの街として復興しました。

琉球風画帖 画・ローゼル川田



ジに通った。沖縄の芸能や料理などでてもてなされ、絵も描いたが……」

東町の布市場(ヌヌマチ)に住んでいた方の話では、ヌヌマチの婦人たちにとってチージも得意客であり、反物や着物を売り、日頃から交流もあった。チージの妓楼で御馳走を食べ、モアイを続けていたという。その方のマカテ逸話で、風景がさらに立ちのぼった。

日暮れ時の市場やチージ界限では、車夫たちが車輪の音を軋ませながら往来している。芝居小屋を通り過ぎた辺りで、ゆったり

走る一台の人力車の後を追っかける子供や大人たちの光景に出会った。

「追っかけだ！」と吹き振り返ると、噂に聞くあの人だった。暫くすると三線や琴の音がガジュマルや石垣の路地から流れてきた。後道の2階からは、寂しく艶やかに聴こえてくる「恋の花節」に思わず立ち止まる人たち。帰り道の「西武門前」の鼻歌は、電車の音に吸い込まれてしまった。



ローゼル川田(文・絵)



アメリカ建築家協会会長と懇親を深めました



芦原会長夫妻と国広ジョージ氏との懇親

2012年11/29～12/1にかけて行われました「JIA建築家大会2012 横浜」には沖縄支部からの参加者は会員賛助会員合わせて14人の参加となりました。



タイ王立建築家協会会長とはタイツアーのお礼をしました

大会では様々なイベントに加え、全国、更には世界から駆け付けてきた建築家とも交流をした貴重な大会となりました。

JIA広報委員長 金城 司

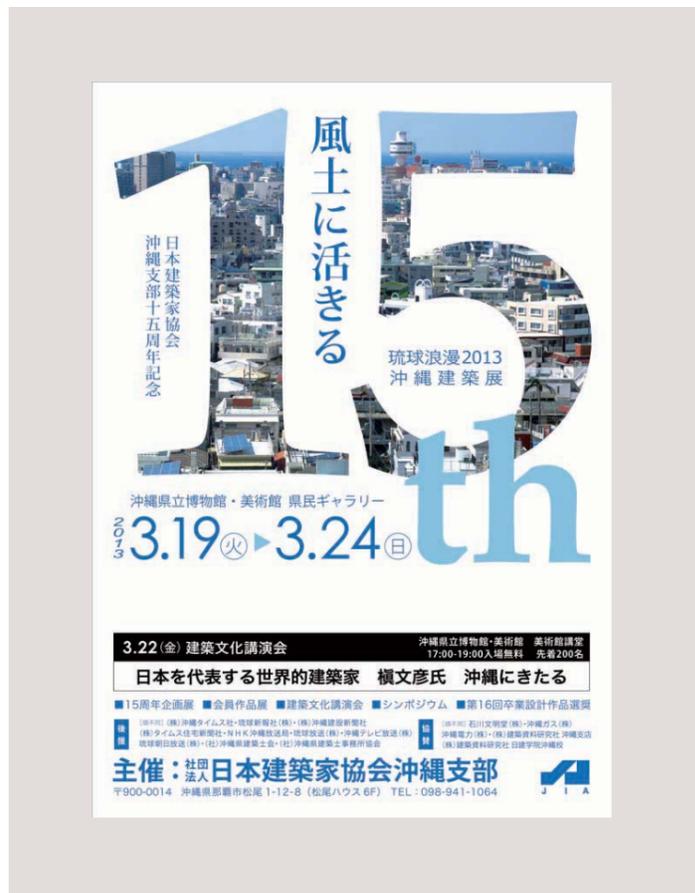
沖縄支部・参加者

- 島田 潤 (株)デザインネットワーク
- 當間 卓 (株)泉設計
- 又吉 清春 JIA 沖縄支部参与
- 金城 司 (有)門一級建築士事務所
- 伊良波 朝義 (有)義空間設計工房
- 慶佐次 操 (有)名工企画設計
- 運天 勲 (株)渡久山設計
- 山城 東雄 (株)東設計工房
- 久高 多美子 (株)東設計工房
- 伊志嶺 敏子 伊志嶺敏子一級建築士事務所
- 下地 鉄郎 (株)クロトン
- 粟国 良昌 沖縄ガス(株)
- 赤嶺 義朝 沖縄ガス(株)
- 金城 義治 金城義治一級建築士設計事務所



伊東豊雄氏との懇親

15周年企画 琉球浪漫2013沖縄建築展



1997年に社団法人日本建築家協会沖縄支部が設立されてから15年が経ちました。沖縄支部では、これまでも毎年、会員の建築展や卒業設計作品選奨を催して来ました。今回は、15周年を記念して、沖縄に於ける建築家の仕事を過去から現在、そして未来へと大きく俯瞰する事を試みました。

島しょ地域で、亜熱帯気候の風土と独特の歴史文化を持つ沖縄で、先人達が取り組んできた仕事やその痕跡を回顧すると共に、現在の会員の建築への試み、そして未来の沖縄の街並みや環境への提言までを「風土に活きる」というテーマで各々の展示を繋いでいます。

沖縄の気候風土が生み出した、個性的な様々な建築の姿がそこにはあります。それらが、これからの沖縄の美しい街並を創り出すヒントになればと思います。

また、22日には、槇文彦先生に講演をして頂きます。23日には、基地跡地利用シンポジウムと卒業設計作品選奨の選考会が開かれます。多くの方々にご参加いただければ幸いです。

社団法人日本建築家協会は4月より公益社団法人に移行します。

これまで以上に皆様と共に、沖縄の風景づくりに貢献できるように開かれた会の運営をしていきたいと思ひます。

これからも、よろしくお祈いします。

社団法人日本建築家協会沖縄支部 支部長 島田 潤



15周年企画

琉球浪漫

2013
沖縄建築展

JIA25年賞・沖縄からの受賞作品

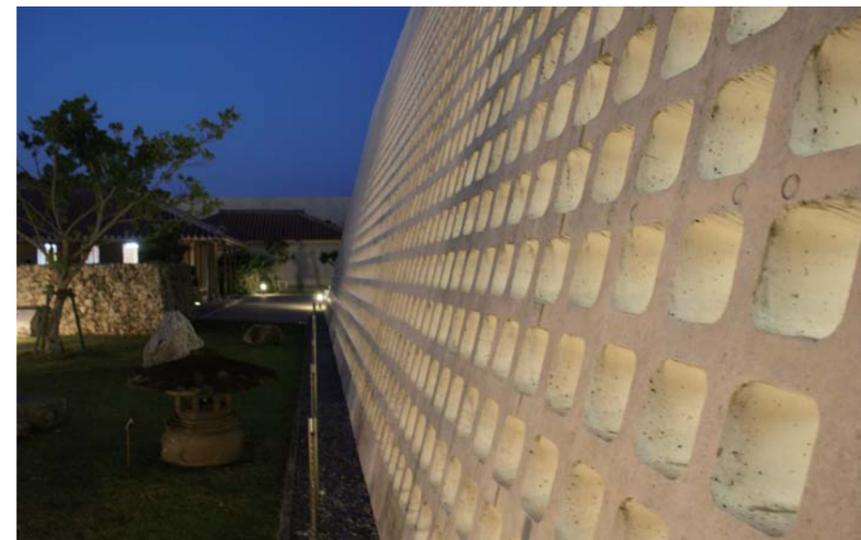
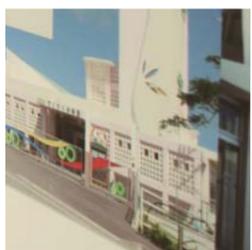
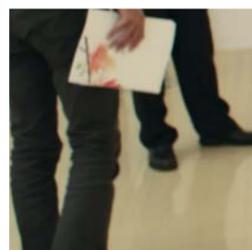
「おきなわの家 世界のまち」

建築の「かけら」展

先人達の原図展

沖縄建築の流れ展

会員作品展





社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部

第16回卒業設計作品選奨

- 主 催/社団法人 日本建築家協会(JIA)沖縄支部
- 後 援/(株)沖縄タイムス社・琉球新報社(株)・(株)沖縄建設新聞社
(株)タイムス住宅新聞社・NHK 沖縄放送局・琉球放送(株)・沖縄テレビ放送(株)
琉球朝日放送(株)・(社)沖縄建築士会・(社)沖縄建築士事務所協会
- 協 賛/沖縄電力(株)・沖縄ガス(株)・石川文明堂(株)
(株)建築資料研究社 日建学院沖縄校 (順不同)

日本建築家協会沖縄支部 15周年記念事業
第16回卒業設計作品選奨 作品募集

□主催 社団法人 日本建築家協会(JIA)沖縄支部
□後援 (株)沖縄タイムス社・琉球新報社(株)・(株)沖縄建設新聞社・(株)タイムス住宅新聞社・NHK 沖縄放送局・琉球放送(株)・沖縄テレビ放送(株)・琉球朝日放送(株)・(社)沖縄建築士会・(社)沖縄建築士事務所協会
□協賛 沖縄電力(株)・沖縄ガス(株)・石川文明堂(株)・(株)建築資料研究社 日建学院沖縄校 (順不同)

■趣旨
2012年度の卒業設計の中から優れた作品を選考表彰する。
特に社会的な意義性、社会性、場所性、将来性のある作品を期待する。

■表彰 表彰額 及び 調音
A. 大学部門 優秀賞 3点程度
B. 短期大学・専門・専修学校部門 優秀賞 3点程度
C. 工業高校部門 優秀賞 3点程度
※優秀賞の中から1点をJIA全国学生卒業設計コンクールに推薦する。(後援及び作品送付はJIAで負担します)

■審査委員
委員長 山城 東雄 (JIA沖縄支部相談役 (株)東設計工房 代表取締役)
副委員長 下地 鉄郎 (JIA沖縄支部副委員長 (株)クロトン 代表取締役)
委員 山内 詩織 (JIA沖縄支部副委員長 (株)クロトン 代表取締役)
委員 平山 英進 (JIA沖縄支部副委員長 (株)クロトン 代表取締役)
委員 真玉 朝雄 (JIA沖縄支部副委員長 (株)クロトン 代表取締役)

■応募資格
国内の建築系学生及び生員またはグループの作品とする。
(大学部門は海外大学に在籍する学生も応募可)

■応募数
A. 大学部門 自然・他選がない
B. 短期大学・専門・専修学校部門
C. 工業高校部門

■提出
図面の大きさ、枚数及び表紙方法は自由とし、設計の条件、趣意等を添付記載する。
図面の中に作品名、学校名、氏名等を記載し、投票の際は認めない。
※プレゼンテーションのデータ提出可能な方は、PDFデータの上CD-ROMにて提出をお願いします。

■提出期間
2013年3月18日(月)～3月21日(木) 12時まで

■発表
2013年3月23日(土) 公開審査 AM 10:00～PM 17:00
発表 PM 16:00～PM 17:30
※当日、公開審査・講演を行います。終了後24日(日)会場(市民スタジオ)で展示します。

■会場
沖縄県立博物館・美術館 1階 展示スタジオ
表紙・展示 2013年5月10日(金) JIA沖縄支部総会
問合せ先・提出先 〒900-0914 那覇市忠実1-12-8 (忠実ハウス6F)
社団法人日本建築家協会沖縄支部 TEL:098-941-1064 FAX:941-1079
(社)日本建築家協会沖縄支部

第16回卒業設計選奨 総評 審査委員長 山城東雄

今年度は15周年の節目、支部長経験者ということで不肖私に審査委員長という大役が廻って来て戸惑いを感じながらも審査にのぞんだ。審査基準も原点に立ち戻り、標記のとおり独創性、社会性、場所性 将来性をベースに審査することを各委員共に確認し1日ばかりで審査に取り組み公開審査とし、学生からの提案も受け入れた審査とした。卒業設計は、それぞれに学んだプロセスの中から見出したテーマであり、多くは若者らしい新鮮な、またある部分では研ぎ澄まされた感性で解決法を模索したあとが感じられます。年々表現力も含め向上しているように思います。残念ながら今回選に漏れた方も気落ちすることなく、これからの人生で大いに励んでいただき、皆様の中から近い将来、沖縄いや日本を背負ってたつ建築家が誕生することを願ってやまない。

大学、大学院の部

さすがに大学生、院生らしく身近な社会問題を追及した作品が目を引く、ごみ処理をポジティブに捉えた作品、「あやどるまゆ」は表現力抜群です。また今問題の普天間、辺野古問題を取り上げるのがあり、一方、沖縄ではないが、ものづくり大国日本の根源である町工場を取り上げ、職住近接を試みたユニークな提案。

強烈なのが死を扱った作品が二点、一点は戦死者に捧げる空間としており、もう一方は、本人いわく「自殺をいけなとする論理的説明が見当たらない」というのはすべてを論理的に解決するという若者特有の解釈であり、生命の尊さ、目に見えないもの大切さも考えてほしい。そのためにはもともと良書を読むことだと思います。人はネガティブな発想も時には必要だと思うがそれをポジティブに昇華させていくことが大事で、少なくとも建築の行為は人と人を結びあわせ、あくまでもポジティブであってほしいと考えるものです。

専門学校の部

各作品とも2年間の学びには上出来と賛辞を送りたい。それぞれが身近な問題、あるいはコミュニティー施設として「あったらいいな」の発想で取り組んでおり優れた作品が多い。女性らしいやさしさにじみでた作品が多い中 Aquarium 海の土星はアクアポリスの発想で都市近郊にもうひとつの水族館を提案しておりやわらかな表現で、観る人によってイメージをかきたてられるユニークさが良い。建築に限らず公園施設など身近なあったらいいなが取り上げられ、楽しい提案がなされており、その子らの将来が楽しみである。

高校生の部

いずれもまじめに取り組み、身近な自分の母校の再生を取り上げるなど、計画性、表現力共に向上していると感じます。どちらもCADを使いこなし、すばらしいが基本はイメージを作り上げる過程はあくまでも手描き、実務ではCADだが、できるだけ高校生のうちに手描きを修練してほしいものである。今回美里工業高校のみで、沖縄工業高校からの参加が願いのほとんど残念です。是非来年度は参加してほしい。先生方にお願います。



審査委員会



委員長 山城 東雄
JIA沖縄支部相談役
東設計工房 代表取締役



委員 下地 鉄郎
JIA沖縄支部副委員長
クロトン 代表取締役



委員 當山 市代
JIA沖縄支部副委員長
ディアコレクション沖縄 店長



委員 平山 英進
JIA沖縄支部副委員長
建築アトリエ PIANO 主宰



委員 真玉 朝雄
JIA沖縄支部副委員長
真玉橋設計事務所 代表取締役

優秀賞

☆は全国卒選に選ばれた作品

学校名	氏名	作品名
大学	琉球大学	大城彦樹 距離について考えてみた ～町工場と住宅の共生のあり方～
	☆ 琉球大学	根間 聖 沈黙の語り
専修学校	IDA	山内詩織 Grow ark 成長する船、
工業高校	美里工業高校	新城章太 中学校
	美里工業高校	中川祐貴 小学校

特別賞

学校名	氏名	作品名
大学	琉球大学	城間盛久 あやどるまゆ 新しいゴミ処理施設の提案
	IDA	安仁屋初紀 道輪 × 童話 コミュニティー
専門・専修学校	上地彩絵羅	Aquarium -海の土星-
	サイ・テクカレッジ	名嘉原 陸 憩い、学び、自然、研究、 今後の観光資源
	西園 雄馬	

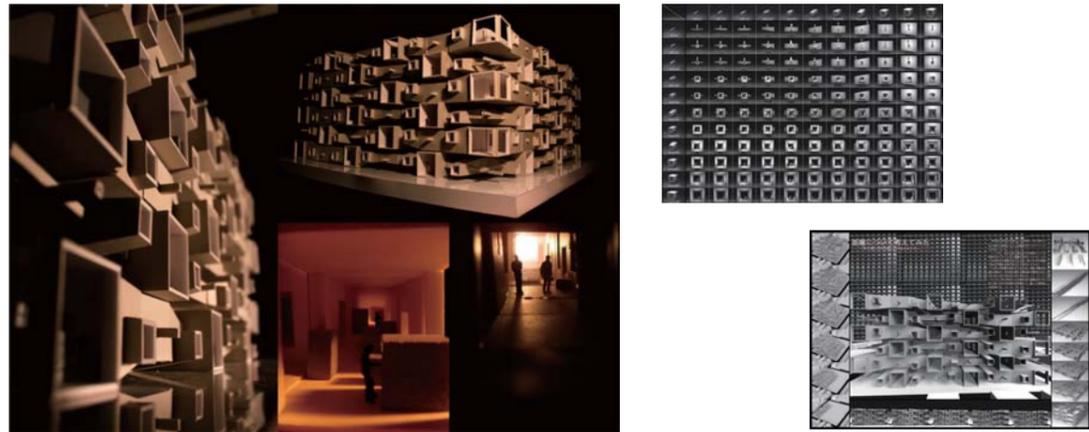
15周年記念 沖縄建設新聞社長賞

学校名	氏名	作品名
琉球大学	宮城洋之	PORT FOR 1,400,000+10,000,000 PEOPLE これからの観光のための港湾施設 港湾施設



選奨作品 大学部門 優秀賞

作品：距離について考えてみた ～町工場と住宅の共生のあり方～ 琉球大学 大城彦樹



昭和における日本産業を下支えしてきた町工場は今経営の厳しさに直面しています。【距離について考えてみた】とタイトルされたこの作品は、経営の厳しい要因に地域住民とのコミュニケーション不足や後継者不足を掲げ、これらは今の職住近接の形態自身に問題があると分析その解決方法を提案しています。解決策として「人と人の距離は近づけ」「町工場と住宅の物理的な距離は職住近接の形態が崩れない程度に離す」と云う新しい共生の方法を導き出しています。内蔵と血管の関係を連想させる複雑で難解な作品ですが、時間を掛け読むことにより内部空間の繋がりが理解出来ます、概念から生まれる都市空間の形態を提案したことに意義を感じました。

(講評：平安山 英進)

選奨作品 専修学校部門 優秀賞

作品：『Grow ark』 インターナショナルデザインアカデミー 山内詩織



彼女の夢の船はたくさんの人が集まる素敵な空間
プレゼンテーション全体の構成もまとまりがあり、円と直線をうまく使って施設内で楽しむ人たちが想像できる見た目に楽しいライブラリーである。インテリア家具をコーディネートする側から見ても、このエリアには小さなグループで本の内容を語り合える空間だったり、個室などは配色を変えて遊びのある空間が作ろうなどコーディネート意欲が湧いてきた。ライブラリーの一部を使って通常のライブラリーには無い意外な使い方を一つ提案して欲しかった。山内さんの本を大事にする思いとセンスの良さが溢れる作品であった

(講評：富山 市代)

選奨作品 大学部門 優秀賞

作品：沈黙の語り 琉球大学 根間 聖



未だに続く戦後処理を遺骨収集問題を通して訴えた作品。これは死者に捧げる空間として、彼らを帰るべき場所へ帰すこと、建築を介した一種の追悼であり、建築という行為がシステム化されていく中で、逆に精神面に与える影響、建築の可能性を示したいという思いで、天空の光を透かした遺骨の落とす影をとうして、命の尊さを訴える手法は、是か非かは別としてこのような施設が、いずれ必要になると思わせるほどすごいテーマであり優秀賞に匹敵し、全国卒選行きにも選ばれた作品。今後の活躍に期待したい。

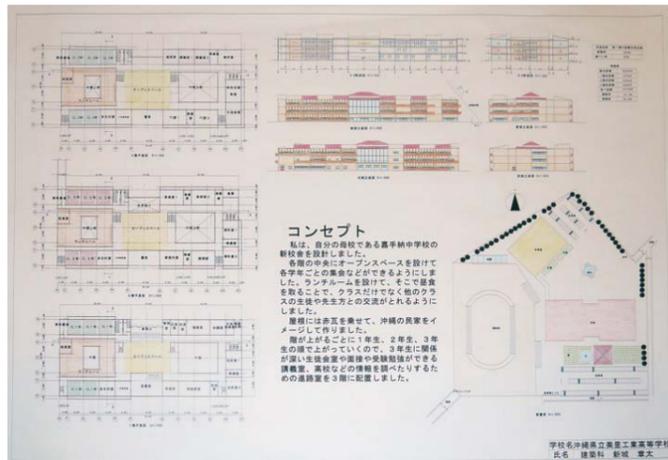
(講評：山城 東雄)



選奨作品 工業高校部門 優秀賞

作品：『中学校』

美里工業高校 新城章太



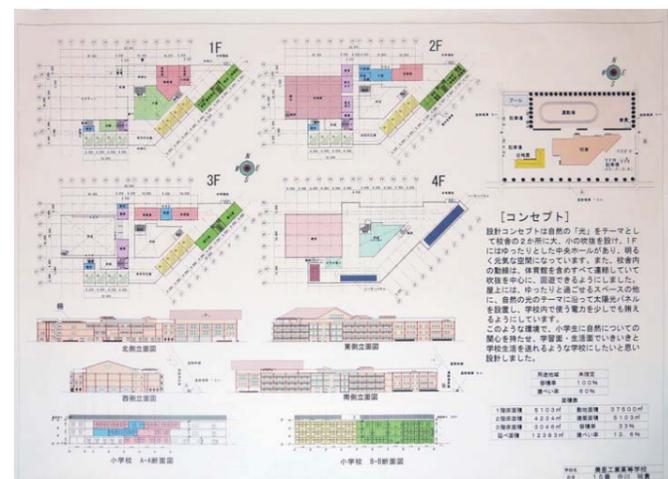
丁寧に設計図も仕上げられており、母校での楽しい思い出を感じさせる温かい作品である。沖縄らしさを出すため赤がわらを用いるなどの工夫があり、噴水や池、花壇・植栽の配置もきれいになされている。ランチルームは面白いアイデアで、クラスを超えて、場合によっては学年を超えて交流ができそう。先生方も合流し易く学生の様子を一目で見渡せるだろう。ランチ以外の時間帯での活用方法や先生とのつながりの場・研究の場などが少し足りない気がする。

(講評：富山 市代)

選奨作品 工業高校部門 優秀賞

作品：『小学校』

美里工業高校 中川祐貴



中川さんの作品は校舎計画の中心に中庭を配置、体育館と教室の間にも光庭を配置することによって設計コンセプトの自然の「光」をうまく表現している。又、ソーラー利用を子供達の自然への関わり方に位置づけ提案している点も良い。むしろこの作品は学年ごとのゾーニングやつながり方、教室と特別教室の配置や階段の位置など(体育館への動線などに課題はあるが)、基本設計として機能的なところで完成度が高く評価できる。小学校を子供の領域としてとらえ外部空間や建物外観にシンボル性やデザインの楽しさが加わればさらに良い作品になったと思われる。

(講評：真玉橋 朝雄)

選奨作品 大学部門 特別賞

作品：あやどるまゆ 新しいゴミ処理施設の提案

琉球大学 城間盛久



計画地として選んだのは、沖縄市のゴミ処理場敷地内に忽然とそびえる「沖縄富士」の異名を持つ「ゴミ山」。ここを対象地として選んだ時点で、彼のユーモアとともに高い社会性を感じる。扱いにくいゴミ山やそこが抱える環境問題について、自身が考える“建築”を通過していくことがこの建物を成立させているのだという彼の意思は、受益と受苦とが複雑に入り混じる原発や基地の課題にも関心が

あるのだろうなどとも審査しつつ勝手に想像していた。形態的には非常に大胆でメカニク的な外観ではあるが、このゴミ山が出来た背景や周辺環境を読み込んだ配置計画とともに、迷惑なゴミが市民の手により工学的に堆肥化され、最終的には街を彩るパブリックファニチャーへと繋がっていくプロセスも注意深く意匠化されており好感が持てた。公開審査中、彼の審査側への活発な意見や提起には、一般的な学生感をいい意味で覆してくれ楽しかった。社会に出て、自身が考える建築への探求心とともに、その物事を進めていく際の“したたかさ”も持続しながら更に洗練させていくことと思う。今後、建築を通じた社会での活躍を期待したい。

(講評：下地哲郎)

選奨作品 専門・専修学校部門 特別賞

作品：道輪 × 童話 コミュニティー

IDA 安仁屋初紀



【道輪 × 童話】と題されたこの作品では公園から生まれる道輪(ものがたり)の始まりを演出、公園に集う人々が繰り広げる様々なものがたりに期待を寄せています。複数のスロープ床を螺旋状に組み合わせた形態の美しい丘はペットと共の散歩、子供達の遊び場、ジョギング、見晴台、考える道、待ち合わせの場所等利用する人々が自由に設定できる空間を提供しています、またそこで生まれた出会いが友人、家族、社会と発展するものがたりが実現したら素晴らしいと思います。

(講評：平安山 英進)

選奨作品 専門・専修学校部門 特別賞

作品：Aquarium -海の土星- 憩い、学び、自然、研究、今後の観光資源

サイ・テク カレッジ 上地彩絵羅・名嘉原陸・西園雄馬



何とも楽しい作品である。宇宙に浮かぶ船のようでもあるし海に浮かぶカプセルのようでもある。課題に対する解決方法が何一つ提示されていない。それでいてみように説得力のある作品である。表現されている幻想性から建築というよりはむしろ音楽のようにも感じられる。さしづめチャイコフスキーの弦楽セレナーデをみ(聴)ているようだ。こういった作品に対する建築としての評価や審査はできないので特別賞となった。いち委員としてとても楽しく拝見した。作者がどの領域に進むのかわからないが今後期待したい。

(講評：真玉橋 朝雄)

選奨作品 15周年記念 沖縄建設新聞社長賞

作品：港湾施設

琉球大学 宮城洋之



沖縄の基幹といえる観光の現実を解析し、海という資源に着目して解決を試みた力作である。物流としての機能しかない現在の那覇港を新たな観光拠点として位置づけ、水上バスによる海の道を整備して観光地のネットワークを提案したことは、あるべきひとつの方向を示したものと言える。

拠点施設としての建物は構造的にも機能的にもきちんと計画されていて実現可能なレベルまで検証されている事は高く評価したい。海を意識したであろうシンプルな建物は作者のデザイン力の高さを伺わせる。沖縄の観光振興のために実現したいと思わせる作品となっている。

沖縄建設新聞社長賞にもっともふさわしい作品といえる。

(講評：真玉橋 朝雄)



JIA 沖縄支部 新規正会員



TAKATHUGU NEROME
根路銘剛次

Structure gives light makes space Louis I.Kahn
「光」がもたらす空間の豊かさを追い求めていきたいと思っています。

経歴

昭和 51 年 那覇市生まれ 36 歳
平成 11 年 明治大学理工学部建築学科卒業
(香山研究室)
平成 11 年～平成 21 年 香山壽夫建築研究所勤務
・新潟県 聖籠町立聖籠中学校
・横浜市 横浜税関増改築設計
・東京都町田市 カトリック町田教会

・岐阜県 可児市文化センター
・大分県 日田市総合文化施設(パトリア日田)等を担当
平成 21 年～ 株式会社 根路銘設計
・沖縄県警察運転免許センター
・那覇商業高校校舎改築設計 等を担当
平成 24 年 4 月～ 同社 代表取締役社長

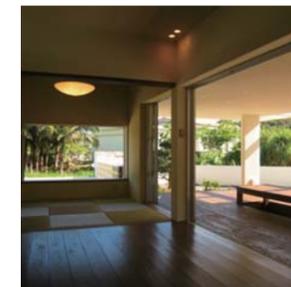
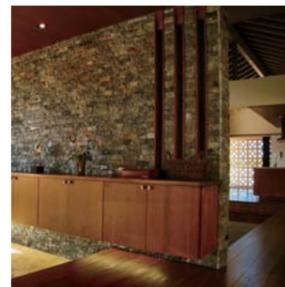


KATHUYA SIMABUKURO
島袋勝也

そこにある自然の恵みを引き出し活かす建築を探求していきたい。

経歴

1967 年 沖縄県やんばる生まれ
1989 年 第一工業大学建築学科卒業
1989 年～ 2007 年 (株)東設計工房勤務
2007 年 建築設計工房 paraya 設立



TETSURO SHIMOJI
下地鉄郎

「社会風土を正確に柔軟に(時には個性的に)読み解き人々に愛されていく建築に」

経歴

昭和 50 年 4 月 : 沖縄生まれ
平成 13 年 3 月 : 琉球大学大学院修士課程修了
平成 13 年 5 月～ : (有)アトリエ・ノア(設計技術員)
平成 13 年 10 月～ : 県内外の設計・家具・内装等
平成 16 年 8 月～ : クロトン(個人事業主)弟とともに開業
平成 23 年 1 月～ : 株式会社クロトン(代表取締役)



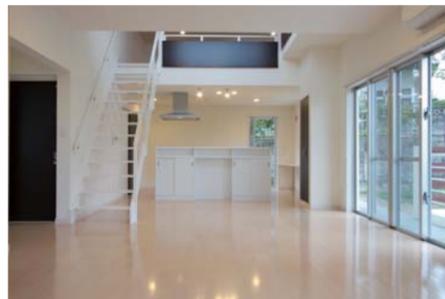
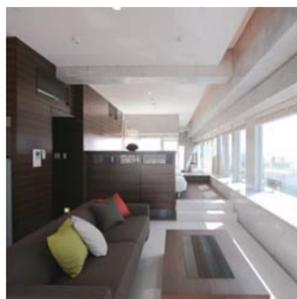


HIDEKI TATETSU
立津 秀樹

一つ一つ異なる敷地のポテンシャルをとらえ、クライアントの想いに向き合っていきたい

経歴

1959年 宮古島市生まれ
1984年 国立琉球大学建設工学科卒業
2000年 (有)プラネット一級建築士事務所 設立

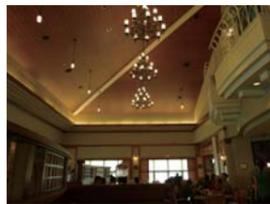


SUGURU SHIROMA
城間 俊

「個の豊かな暮らしと地域全体の幸福」の両立をめざして

経歴

1972年生 琉球大学工学部建設工学科卒
1995年 株式会社 国建入社
1997年 青年海外協力隊に参加しヨルダン国に2年間派遣
2002年 株式会社 具志堅建築設計事務所入社、現職
2013年 那覇市内バス停上屋意匠選定設計競技にて最優秀作品賞受賞



MAMORU IKEMA
池間 守

エー・アール・ジーは建築設計を通して美しい街づくりを創造します。

経歴

1966年 沖縄県浦添市生まれ。
東京都の設計事務所勤務後
1995年 株式会社 エー・アール・ジーに入社
2010年 代表取締役社長就任
一級建築士、一級建築施工管理技士



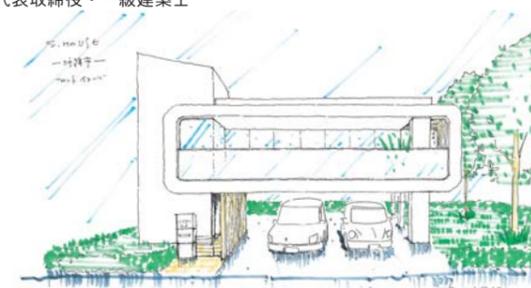
TOMOKAZU KUDA
久田 友一

バランス ～メインとベース～

どんな時代にも左右されず、施主の充実したライフスタイル(メイン)が生き生きと反映するシンプル空間(ベース)を発信します。

経歴

昭和39年2月13日生まれ
昭和62年4月～平成3年3月 有限会社 あさひ総合企画 設計部
平成3年4月～平成4年5月 総合建設業 久田組
平成4年7月～平成22年7月 久友設計 代表者
平成22年7月 久友設計株式会社 代表取締役・一級建築士



店長 西村 務

dia collection

for a contemporary lifestyle

ディアコレクション 沖縄

ヨーロッパを中心とした
輸入家具販売と
コーディネート業務

私たちは、多くのプロジェクト経験を踏まえ、インテリアを通じた提案業務で、お客様のご要望にお応えしていきたいと思っています。dia collectionを皆様に多に活用いただきたい、私たちは皆様に懸命にバックアップしたい、そして居心地のいい空間デザインを完成させたいと願っております。今後ともよろしくお引き立てください。



〒900-0006 那覇市おもろまち4丁目19番39号
グランドテラス新都心1階
TEL098-860-9661 FAX098-860-9664
<http://www.daiwarakuda.co.jp/dia-collection/>

営業時間 11:00～19:00
定休日 水曜日
アクセス ゆいレール「おもろまち駅」より徒歩1分



2011年7月3日 開設



2013年3月28日 リニューアルオープン

2013年度 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部 会員名簿 (2013年4月1日現在)

赤嶺和雄	〒901-0153 那覇市宇栄原 3-15-17 ビレッジさつき 202 (有)設計同人GAN 代表取締役	T E L : 098-858-3800 F A X : 098-858-3802 E-mail: aka-gan@hop.ocn.jp U R L : http://www.aka-gan.com	国吉真正	〒901-2113 浦添市大平2-19-11 榑エー・アール・ジー 取締役会長	T E L : 098-877-5556 F A X : 098-877-5642 E-mail: arg@arg2000.co.jp U R L : http://www.arg2000.co.jp
石川幸延	〒905-0011 名護市宇宮里 453-7 大宮総合開発ビル2F 榑AMS設計 代表取締役	T E L : 0980-52-5183 F A X : 0980-53-6598 E-mail: nago@ams1938.com U R L : http://www.ams1983.com/	慶佐次 操	〒900-0021 那覇市泉崎1-12-12 泉コーポ1F (有)名工企画設計 代表取締役	T E L : 098-868-9491 F A X : 098-868-9493 E-mail: meikou@beach.ocn.ne.jp U R L : http://www.mkok.jp
伊志嶺敏子	〒906-0012 宮古島市平良西里 269 伊志嶺敏子一級建築士事務所 所長	T E L : 0980-72-2116 F A X : 0980-72-3194 E-mail: ishimine@orange.ocn.ne.jp U R L : http://www.	国場幸房	〒900-0015 那覇市久茂地1-2-20 榑国 建 名誉会長	T E L : 098-862-1106 F A X : 098-862-5072 E-mail: yukifusa_kokuba@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/
伊良波朝義	〒902-0072 那覇市真地 169-1 (有)義空間設計工房 代表取締役	T E L : 098-888-5303 F A X : 098-888-5304 E-mail: tiraha@gikuukan.com U R L : http://www.gikuukan.com/	小林文男	〒901-2114 浦添市安波茶1-32-13 榑ワールド設計 代表取締役	T E L : 098-878-2215 F A X : 098-879-0417 E-mail: kobabun@world-sekkei.jp U R L : http://www.world-sekkei.jp
運天 勲	〒901-2131 浦添市牧港 2-8-4 榑渡久山設計 社長	T E L : 098-876-1101 F A X : 098-876-8880 E-mail: banyan-untent@tae.co.jp U R L : http://www.tae.co.jp/	古見輝夫	〒902-0061 那覇市古島1-25-4 比嘉産業ビル201号 榑協和設計事務所 代表取締役	T E L : 098-886-3330 F A X : 098-886-3355 E-mail: okyowa@orange.ocn.ne.jp U R L : http://www.
運天 浩	〒900-0021 那覇市泉崎1-12-12 泉コーポ1F (有)名工企画設計	T E L : 098-868-9491 F A X : 098-868-9493 E-mail: meikou@beach.ocn.ne.jp U R L : http://www.	島田 潤	〒900-0021 那覇市泉崎2-19-1 榑デザインネットワーク 代表取締役	T E L : 098-833-2008 F A X : 098-833-2038 E-mail: dnjun@ao1.com U R L : http://www.dn-okinawa.com
小倉暢之	〒903-0213 西原町千原1 琉球大学工学部環境建設工学科 教授	T E L : 098-895-8654 F A X : 098-895-8654 E-mail: oguranob@tec.u-ryukyuu.ac.jp U R L : http://www.	平良俊夫	〒901-2132 浦添市伊祖1-32-6 榑フォーム建築研究所 代表取締役	T E L : 098-877-2455 F A X : 098-870-5182 E-mail: form@mocha.ocn.ne.jp U R L : http://www.
大浜英和	〒907-0022 石垣市字大川287-5 匠設計室 代表者	T E L : 0980-82-3550 F A X : 0980-82-9381 E-mail: burus-5431@joy.ocn.ne.jp U R L : http://www.	武岡光明	〒901-2301 北中城村字島袋1355 カントリーハイツ14 一級建築士事務所 T・武岡建築設計室 代表	T E L : 098-933-2968 F A X : 098-933-2999 E-mail: takeoka@cosmos.ne.jp U R L : http://www.
大嶺 亮	〒901-2102 浦添市前田1-9-17 大牧開発ビル2F ファイブディメンション 所長	T E L : 098-874-3220 F A X : 098-874-3237 E-mail: makoto@fivedim.com U R L : http://www.Fivedim.com/	玉那覇有紀	〒903-0823 那覇市首里大中町1-41-3 榑有建築事務所 代表取締役	T E L : 098-887-7922 F A X : 098-874-2732 E-mail: yu_ken@d3.dion.ne.jp U R L : http://www.
門口安則	〒904-2244 うるま市江洲 595-4 榑アトリエ門口 主宰	T E L : 098-974-3554 F A X : 098-974-3588 E-mail: yasunori@kadoguchi.net U R L : http://www.kadoguchi.net/	知念信正	〒904-2215 うるま市みどり町1-1-6 平川ビル3F 新環境榑 代表取締役	T E L : 098-982-6788 F A X : 098-982-6550 E-mail: n-chinen@shinkankyo.jp U R L : http://www.shinkankyo.jp/
上村 彰	〒901-2224 宜野湾市真志喜2-16-6-102 榑チームアルファ 取締役	T E L : 098-890-6000 F A X : 098-890-0005 E-mail: kmmr@team-alpha.jp U R L : http://www.team-alpha.jp	當間 卓	〒900-0023 那覇市楚辺 3-3-11 榑泉設計 代表取締役	T E L : 098-832-1302 F A X : 098-855-6788 E-mail: t-toma@izmarc.co.jp U R L : http://www.izmarc.co.jp/
金城 傑	〒903-0814 那覇市首里崎山町2-13 (有)K・でざいん 代表取締役	T E L : 098-835-5518 F A X : 098-835-5519 E-mail: suguru-k@nirai.ne.jp U R L : http://kdesign.main.jp/	中島鉄臣	〒901-2113 浦添市大平1-2-20 榑エル設計 代表取締役	T E L : 098-878-0085 F A X : 098-874-1752 E-mail: info@el-okinawa.jp U R L : http://el-okinawa.jp
金城 司	〒901-1117 南風原町字津嘉山750-1 (有)門一級建築士事務所 取締役	T E L : 098-888-2401 F A X : 098-888-2404 E-mail: jo1q@ec5.technowave.ne.jp U R L : http://www.jo1q.com/	仲宗根 徹	〒905-0011 名護市宮里3-4-7-1号 (有)ナカソネ設計 取締役	T E L : 0980-52-2797 F A X : 0980-52-0657 E-mail: toru.n@nakasone-sekkei.co.jp U R L : http://www.nakasone-sekkei.co.jp
金城 優	〒901-2132 浦添市伊祖1-32-1 伊祖ビル202 (有)門 代表取締役	T E L : 098-870-0303 F A X : 098-876-5159 E-mail: mk@jo-ds.com U R L : http://www.jo-ds.com/	仲間郁代	〒904-1201 金武町字金武8038-30 仲間郁代建築設計事務所 主宰	T E L : 098-968-4827 F A X : 098-968-3767 E-mail: office@ikuyo-nakama.jp U R L : http://www.ikuyo-nakama.jp/
金城義治	〒901-0614 南城市玉城奥武字 275-3 シーサイドビュ 205 金城義治一級建築士設計事務所 代表	T E L : 098-948-2516 F A X : 098-948-2516 E-mail: kinjiyo-2516@ac.auone-net.jp U R L : http://www.	仲元典允	〒902-0069 那覇市松島2-1-8 榑現代設計 代表取締役	T E L : 098-979-9070 F A X : 098-979-9071 E-mail: gendai@i-okinawa.ne.jp U R L : http://gendaisekkei.com/
具志堅 喬	〒901-2213 宜野湾市志真志1-8-1 榑具志堅建築設計事務所 代表取締役会長	T E L : 098-892-1017 F A X : 098-892-1025 E-mail: takashigushiken@gushikena-e.net U R L : http://www.gushikena-e.com/	永山盛孝	〒900-0015 那覇市久茂地1-8-19 団設計工房 所長	T E L : 098-863-2355 F A X : 098-863-2359 E-mail: nagas@violin.ocn.ne.jp U R L : http://www.dansekkei.jp
久高多美子	〒901-2132 浦添市伊祖1-4-12 榑東設計工房 専務取締役	T E L : 098-877-1962 F A X : 098-877-1973 E-mail: tameco@azumas.com U R L : http://www.azumas.com/	西里幸二	〒901-0231 豊見城市字我那覇426-78 一級建築士事務所 西設計 主宰	T E L : 098-852-2888 F A X : 098-852-2889 E-mail: a-nishi@m1.cosmos.ne.jp U R L : http://www.

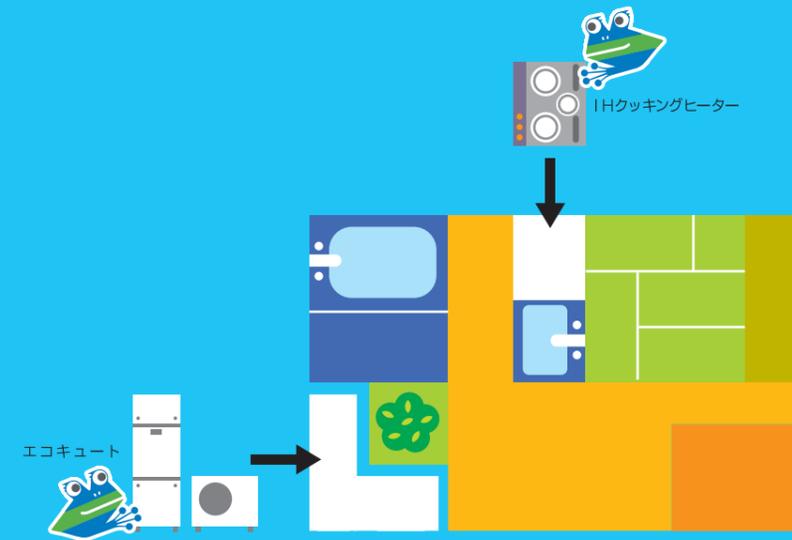
西山庸二	〒904-0105 北谷町字吉原993-5 沖縄職業能力開発促進センター 講師	T E L : 098-936-1755 F A X : 098-936-1853 E-mail: Nishiyama.Yoji@jeed.or.jp U R L : http://www.	根路銘剛次	〒900-0032 那覇市松山2-8-17 榊根路銘設計 代表取締役	T E L : 098-868-7477 F A X : 098-868-9452 E-mail: takatsugu@nerome-sekkei.co.jp U R L : http://www.
根路銘安弘	〒900-0032 那覇市松山2-8-17 榊根路銘設計 会長	T E L : 098-868-7477 F A X : 098-868-9452 E-mail: nero@nerome-sekkei.co.jp U R L : http://www.	島袋勝也	〒905-0425 今帰仁村字与那嶺 223-1 建築設計工房 Paraya 代表者	T E L : 0980-56-2955 F A X : 0980-56-2955 E-mail: paraya@viola.ocn.ne.jp U R L : http://www.
野原 勉	〒901-0151 那覇市鏡原町21-1 榊都市建築設計 代表取締役	T E L : 098-858-1002 F A X : 098-858-2081 E-mail: toshi_ken1002@ybb.ne.jp U R L : http://www.	下地鉄郎	〒901-2114 浦添市安波茶 1-53-13 榊クロトン 代表取締役	T E L : 098-877-9610 F A X : 098-878-9613 E-mail: croton@croton.jp U R L : http://www.croton.jp
長谷部 廣	〒904-2173 沖縄市比屋根2-11-5 つぼみビル (有)長谷部建築研究所 代表取締役	T E L : 098-930-0874 F A X : 098-930-0917 E-mail: info@hasebeokinawa.com U R L : http://www.hasebeokinawa.com	立津秀樹	〒903-0126 西原町字棚原 299-3 ㈱ブラネット一級建築士事務所 代表者	T E L : 098-979-6698 F A X : 098-979-6697 E-mail: planet@comet.ocn.ne.jp U R L : http://www.
比嘉伝英	〒905-0013 名護市城1-7-11 山葉商会ビル302号 美音 Space Design ㈱ 代表取締役	T E L : 0980-54-4500 F A X : 0980-54-4510 G-mail: infobionsd@gmail.com U R L : http://www.diosd.co.jp	城間 俊	〒901-2213 宜野湾市志真志 1-8-1 榊具志堅設計事務所 建築設計部長兼執行役員	T E L : 098-892-1017 F A X : 098-892-1025 E-mail: suguru.shiroma@gushikena-e.net U R L : http://www.
比嘉盛朋	〒900-0015 那覇市久茂地1-2-20 榊国 建 代表取締役社長	T E L : 098-862-1106 F A X : 098-868-3882 E-mail: moritomo_higa@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/	上江田 正	〒901-0153 那覇市宇江栄原 2-24-6 ㈱GA2 設計 所長	T E L : 098-857-2826 F A X : 098-857-2827 E-mail: ga2@salad-jp.com U R L : http://www.
福田俊次	〒900-0015 那覇市久茂地1-2-20 榊国 建 常務取締役	T E L : 098-862-1734 F A X : 098-862-5072 E-mail: shunji_fukuda@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/	池間 守	〒901-2113 浦添市大平 2-19-11 榊エーアールジエ 代表取締役社長	T E L : 098-877-5556 F A X : 098-877-5642 E-mail: ikema.mm.r@arg2000.co.jp U R L : http://www.
藤元節男	〒901-2122 浦添市勢理客 1-16-1 301 節・アーキテクツ 主宰	T E L : 050-3372-7565 E-mail: lequios@bronze.ocn.ne.jp U R L : http://www.	高増和明	〒901-0155 那覇市金城 2-8-4 一級建築士事務所 SOFT 21 代表者	T E L : 098-859-5444 F A X : 098-859-5444 E-mail: takamasu@soft-21.co.jp U R L : http://www.
外間 勉	〒900-0022 那覇市樋川2-14-16 (有)外間建築設計事務所 代表取締役	T E L : 098-855-7572 F A X : 098-855-7580 E-mail: t-hokama@hokama.co.jp U R L : http://www.hokama.ti-da.net/	久田友一	〒904-2245 うるま市赤道 359-1 久友設計㈱ 代表取締役	T E L : 098-974-4327 F A X : 098-974-4367 E-mail: hisamoto@f5.dion.ne.jp U R L : http://www.
本庄正之	〒902-0067 那覇市安里418コーポティブひめゆり4F (有)アトリエノア 代表取締役	T E L : 098-884-2404 F A X : 098-884-0935 E-mail: call@a-noa.co.jp U R L : http://www.a-noa.co.jp			
前田 慎	〒901-2102 浦添市前田2-7-7 ポイントウォーカーデザイン 代表	T E L : 098-963-8865 F A X : 098-963-8865 E-mail: mak@the-pwd.com U R L : http://www.the-pwd.com			
又吉清春	〒900-0014 那覇市松尾 1-12-8 松尾ハウス 6 F JIA 沖縄支部 参与	T E L : 098-941-1064 F A X : 098-941-1079 E-mail: kiyoharu.2000@cyber.ocn.ne.jp U R L : http://www. T E L : 090-1940-2000 F A X : 098-879-6635			
松田幸吉	〒900-0012 那覇市泊2-1-10 (有)設計集団 閃 代表取締役	T E L : 098-863-5970 F A X : 098-863-5973 E-mail: tom2110@orange.ocn.ne.jp U R L : http://www.	榊岡村製作所沖縄支店	〒900-0015 那覇市久茂地 1-7-1 琉球リースビル 12F 支店長 片岡久人	T E L : 098-862-2121 F A X : 098-869-6400 E-mail: hisato_kataoke@okamura.co.jp U R L :
松山喜治	〒900-0015 那覇市久茂地1-2-20 榊国 建 専務取締役	T E L : 098-862-1106 F A X : 098-868-3882 E-mail: Yoshiharu_Matsuyama@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/	岡本産業㈱沖縄出張所 (担当者:伊勢 力)	〒900-0036 那覇市西 3-15-15 レオパレスベイサイド那覇105 取締役会長 岡本常義	T E L : 098-863-3103 F A X : 098-863-3104 E-mail: tunesari@okamotosangyo.co.jp U R L : http://www.okamotosangyo.co.jp
美濃祐央	〒901-2133 浦添市城間 1-17-11 一級建築士事務所 tin architects 共同主宰	T E L : 098-988-0506 F A X : 098-988-0507 E-mail: ryem0119@ybb.ne.jp U R L : http://www.ten-arch.com	沖縄ガス㈱ (担当者:徳里善信)	〒900-8605 那覇市西 3-13-2 代表取締役社長 宮城 勲	T E L : 098-863-7740 F A X : 098-862-0623 E-mail:(徳里) ys.tokuzato@okinawagas.co.jp U R L : http://www.okinawagas.co.jp
宮平隆雄	〒903-0825 那覇市首里山川町3-61-9 榊宮平設計 代表取締役	T E L : 098-886-1238 F A X : 098-886-1445 E-mail: tm-billhant@iris.ocn.ne.jp U R L : http://www.	AGC 沖縄硝子建材㈱ (担当者:田川照夫)	〒903-0103 西原町字小那覇 1323 代表取締役社長 藤元 勲	T E L : 098-944-2121 F A X : 098-944-2111 E-mail:(田川)teruo@agc.co.jp U R L : http://www.e-mado.info/agcokinawa/
山城東雄	〒901-2132 浦添市伊祖1-4-12 榊東設計工房 代表取締役	T E L : 098-877-1962 F A X : 098-877-1973 E-mail: ayama@azumas.com U R L : http://www.azumas.com/	おきなわ建築We b	〒901-2133 浦添市城間 4-6-10 代 表 新里香代子	T E L : 098-963-7785 F A X : 098-963-7785 E-mail: mail@okinawa-kentikuweb.com U R L : http://www.okinawa-kentikuweb.com/

2013 年度 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部 賛助会名簿 (2013 年 4 月 1 日現在)

石川文明堂㈱	〒903-0104 西原町字兼久 83 代表取締役社長 石川元義	T E L : 098-945-3232 F A X : 098-945-0703 E-mail: i-motoyoshi@ok-bunmeido.co.jp U R L : Ok-bunmeido.co.jp
学校法人KBC学園グループ 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー (担当者:鈴木・金城)	〒901-2131 浦添市牧港 1-60-14 学校長 松根正寛	T E L : 098-942-6780 F A X : 098-942-6781 E-mail:(鈴木) suzuki@ida.ac.jp U R L : http://www.ida.ac.jp/
榊岡村製作所沖縄支店	〒900-0015 那覇市久茂地 1-7-1 琉球リースビル 12F 支店長 片岡久人	T E L : 098-862-2121 F A X : 098-869-6400 E-mail: hisato_kataoke@okamura.co.jp U R L :
岡本産業㈱沖縄出張所 (担当者:伊勢 力)	〒900-0036 那覇市西 3-15-15 レオパレスベイサイド那覇105 取締役会長 岡本常義	T E L : 098-863-3103 F A X : 098-863-3104 E-mail: tunesari@okamotosangyo.co.jp U R L : http://www.okamotosangyo.co.jp
沖縄ガス㈱ (担当者:徳里善信)	〒900-8605 那覇市西 3-13-2 代表取締役社長 宮城 勲	T E L : 098-863-7740 F A X : 098-862-0623 E-mail:(徳里) ys.tokuzato@okinawagas.co.jp U R L : http://www.okinawagas.co.jp
AGC 沖縄硝子建材㈱ (担当者:田川照夫)	〒903-0103 西原町字小那覇 1323 代表取締役社長 藤元 勲	T E L : 098-944-2121 F A X : 098-944-2111 E-mail:(田川)teruo@agc.co.jp U R L : http://www.e-mado.info/agcokinawa/
おきなわ建築We b	〒901-2133 浦添市城間 4-6-10 代 表 新里香代子	T E L : 098-963-7785 F A X : 098-963-7785 E-mail: mail@okinawa-kentikuweb.com U R L : http://www.okinawa-kentikuweb.com/

沖縄三和シャッター㈱ (担当者: 山川)	〒 901-0212 豊見城市字平良 84-1 代表取締役社長 疋田 守	T E L : 098-840-5538 F A X : 098-840-5510 E-mail: (山川) yamakawas@sip.sanwa-ss.co.jp URL: http://www.sanwa-hidgs.co.jp/
(資) 沖縄実業 (担当者: 総務部=国場隆志)	〒 902-0067 那覇市安里 1-8-4 代表社員 宮里幸雄	T E L : 098-867-0145 F A X : 098-866-4182 E-mail: (国場) kokuba@okijitsu.co.jp URL: http://www.okijitsu.co.jp/
沖縄電力㈱ ソリューション営業部 (担当者: 山城邦夫)	〒 901-2602 浦添市牧港 5-2-1 ソリューション営業部長 山城邦夫	T E L : 098-877-2341 (3620) F A X : 098-878-3842 E-mail: (山城) kunio_yamashiro@okiden.co.jp URL: www.kaeru.tv
株 沖縄日立 (担当者: 高江洲明彦)	〒 900-0006 那覇市おもろまち 1-3-31 代表取締役社長 山崎耕司	T E L : 098-861-1045 F A X : 098-863-2762 E-mail: (高江洲) Takaesu_Akihiko@hbs.co.jp URL: okinichi.co.jp/about/outline.html
沖縄文化シャッター㈱	〒 901-0205 豊見城市字根差部 667 代表取締役 松阪廣男	T E L : 098-850-6121 F A X : 098-850-6141 E-mail: URL:
沖縄三菱電機販売㈱	〒 901-2223 宜野湾市大山 7-12-1 代表取締役社長 大野和也	T E L : 098-898-1111 F A X : 098-898-0303 E-mail: Ono-Kazuya@oki.mellife.co.jp URL:
沖縄三菱電ビルシステム㈱	〒 900-0015 那覇市久茂地 1-3-1 代表取締役社長 沖本光憲	T E L : 098-866-1175 F A X : 098-861-4648 E-mail: okimoto.mitsunori@okinawa-royden.co.jp URL: http://www.okinawa-ryoden.jp/
株 ざまみダンボール (担当者: 宇江原)	〒 901-0305 糸満市西崎町 4-7 代表取締役社長 座間味 勲	T E L : 098-992-2250 F A X : 098-992-0111 E-mail: (宇江原) izamami@zamami.co.jp URL: http://www.zamami.co.jp/
ダイキンHVACソリューション 沖縄㈱ (担当者: 諸見里)	〒 901-0155 那覇市金城 5-3-4 代表取締役社長 岸本直也	T E L : 098-859-4154 F A X : 098-859-4163 E-mail: (諸見里) susumu.moromizato@daikin.co.jp URL: http://www.daikin.co.jp/group/dkhuac-okinawa
デジタルスタジオ ガラパゴ	〒 901-2223 宜野湾市大山 2-21-5 花ビル 2 F-A 代表取締役 工藤敏雄	T E L : 050-1244-5037 F A X : 050-1244-5037 E-mail: digitalstadio@garapago.jp URL: http://www.garapago.jp/
TOTO株 沖縄営業所	〒 900-0004 那覇市銘苅 3-10-17 所 長 大塚孝一郎	T E L : 098-868-0122 F A X : 098-868-3783 E-mail: koichro.otsuka@jp.toto.com URL: http://www.showroom.toto.jp/
南西原農園	〒 903-0804 那覇市首里石嶺町 4-135-1 代表取締役社長 下地浩之	T E L : 098-886-3071 F A X : 098-886-3107 E-mail: nisihara@nirai.ne.jp URL:
比嘉工業㈱ (担当者: 知花)	〒 903-0103 西原町字小那覇 903 代表取締役社長 比嘉広明	T E L : 098-945-4620 F A X : 098-946-2835 E-mail: info@higa-kogyo.jp URL: http://www.higa-kogyo.jp/
南PDT duo	〒 903-0816 那覇市首里真和志 2-17 代表取締役社長 金城 学	T E L : 098-885-8442 F A X : 098-885-8442 E-mail: manabu.kinjo@pdt-duo.com URL: http://www.pdt-duo.com/
パナソニックリビング九州㈱ 沖縄支店 (担当者: 上江洲博巳)	〒 901-2131 浦添市牧港 5-4-3 支店長 富塚 健	T E L : 098-878-6363 F A X : 098-878-0818 E-mail: (上江洲) uezu.hiromi@jp.panasonic.com URL:
福山商事㈱	〒 901-2556 浦添市牧港 4-14-17 代表取締役社長 福山俊行	T E L : 098-876-5200 F A X : 098-876-5209 E-mail: soumu@fukuyamacorp.co.jp URL: http://www.fukuyamacorp.co.jp/
株 沖縄建設新聞	〒 900-0012 那覇市泊 3-5-6 代表取締役社長 古謝 昇	T E L : 098-867-1290 F A X : 098-863-8426 E-mail: admission@okitel.com URL: http://www.cmoki.net/
ディアコレクション沖縄 (担当者: 荒木香織)	〒 900-0006 那覇市おもろまち 4-19-39 店 長 當山市代	T E L : 098-860-9661 F A X : 098-860-9664 E-mail: (荒木) k-araki@daiwarakuda.co.jp URL: http://www.

簡単なパズル。



難しそうだけど、やってみたら案外簡単なパズルってありますよね。

「オール電化」も実はそんな感じ。

今お使いの給湯機やガスコンロを「エコキュート」と「IHクッキングヒーター」に
取り替えるだけのプチリフォーム始めませんか？



セイカツをカエル。
オール電化

詳しくは
オール電化ウェブサイト www.kaeru.tv へ

ガス衣類乾燥機

スピーディ
約50分で5.0kgの大量衣類もスピード乾燥。
所要時間は、なんと電気の半分以下。

大容量
たっぷり余裕の5.0kg。まとめ洗いの乾燥もおまかせ。

経済的
パワフルなガスだから、1回分の乾燥が安い。

ふっくら清潔
熱風乾燥だから、やさしい肌ざわりで清潔乾燥。

Rinnai



衣類にあわせて、
コースを選択。
あとは、おまかせ全自動。
リンナイ
はやい乾太くん
5.0kg乾燥
RDT-51S/SU
3.0kg乾燥
RDT-30A/AU

高効率ガスふろ給湯器

環境に
ECO 暮らしに
ECO



必要な時に、
必要な量のお湯を安定して供給
湯切れの心配がない、
快適なバスタイムを
高効率ガスふろ給湯器
エコジョーズがサポートします



ecoジョーズ

待望の普及タイプ登場！
*ガス代も約11%お得！
*CO2も約11%削減！
*熱効率90~95%を達成！
*軽量&コンパクト！
これまでの給湯器と同サイズ
設置場所も心配ありません

街に暮らしに ちゅらエネルギー
沖縄ガス
TEL.098-863-7730



高効率ガスふろ給湯器・ガス衣類乾燥機
お問い合わせは、
お気軽に沖縄ガスまで！
沖縄ガス | Click!

○ A フ ロ ア ・ パ ー テ ィ シ ョ ン 工 事
各 種 黒 板 ・ ブ ラ イ ン ド 工 事
オ フ ィ ス 家 具 ・ 事 務 用 品 ・ 東 芝 コ ピ ー 機

オ フ ィ ス 、 店 舗 、 デ ザ イ ン 設 計 施 工
住 宅 家 具 (カ ン デ ィ ハ ウ ス)

ISHKAWA BUNMEIDO 石川文明堂株式会社

本 社 : 西原町字兼久 83 番地 TEL:098-945-3232 FAX:098-945-0703
那覇支店 : 那覇市泉崎 2-105-18-6 階 TEL:098-835-9060 FAX:098-945-0703

あなたには、
夢をみる資格があります。

日建学院

日建だからできた新しい学習システム! **個別型学習ブース教室** **フレースタイルコース 誕生!!**
個別ブース無料体験実施中!

建築、不動産、建設業界資格のパイオニア「日建学院」が業界の枠を超えた資格取得講座をスタート!

1 全席指定の個別型ブース
2 24時間利用可能
3 カリキュラムが自由自在
4 講義の質疑応答にも対応

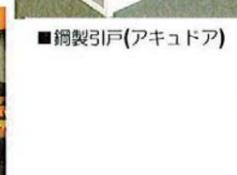
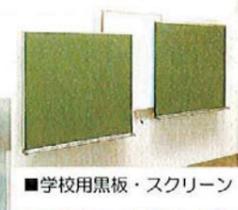
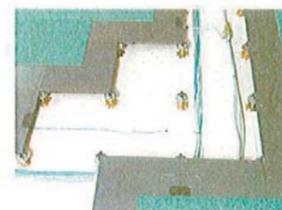
法律系 医療系 事務系 IT系 建築系 不動産系 などなど
全113コース!!
詳しくは総合パンフレットをご覧ください。
通学時間も講義内容も自分次第!

注目 日建学院ジョブサーチセンター 札幌・仙台・東京・群馬・新潟・金沢・浜松・大阪・岡山・福岡・熊本・沖縄
日建学院は全国ネットを活かし、全国主要都市12ヶ所にジョブサーチセンターを設置。「就職・転職」を目的とした“資格取得”“スキルアップ”をする受講生に対し、全国から集まる求人情報を積極的に提供。全力で受講生と各企業との橋渡し(就職)をサポートしています!

資格取得から就職支援まで。
日建学院

■ 沖縄校 那覇市安謝2-3-7 トワ・プランビル1F ☎ 098-861-6006
■ コザ校 沖縄市松本3-1-20 ☎ 098-983-4412
■ 名護校 沖縄県名護市為又1219番地 164 北部建設会館2F ☎ 0980-50-9115

働く人々の快適空間をデザインする オフィス・店舗デザイン設計から施工まで



創業60周年 **IKB 石川文明堂株式会社**
本 社 : 西原町字兼久 83 番地 TEL:098-945-3232 FAX:098-945-0703
那覇支店 : 那覇市泉崎 2-105-18-6 TEL:098-835-9060 FAX:098-834-0239

編 集 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部
広報委員会
発 行 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部
〒901-0014 那覇市松尾 1-12-8 (松尾ハウス 6F)
TEL 098-941-1064
FAX 098-941-1079
発行人 島田 潤 (支部長)
印 刷 合資会社 精印堂印刷
TEL 098-832-1311
発行日 2013年5月10日